

平成18年度 市の仕事



登別市

『平成18年度市の仕事』の作成にあたって

市民の皆さんが、市政のあらゆる分野に参画する上でもっとも基本となる市政情報の一つとして、『平成18年度市の仕事』を作成しました。

この『平成18年度市の仕事』は、今年度、市が取り組む事業のあらましと予算の内容を『登別市総合計画』の柱立てに沿って紹介するものです。

まちづくりは、自分の住むまちを、市民の皆さんが「こうしていきたい」と自ら考え、判断・決定し、責任をもって行うことです。

今年度、市がどのような事業に取り組むのか、あるいは、市が提供しているサービスにどのくらいのお金がかかっているのかなど、市民の皆さんが市の施策を検討する上で、また、登別のまちづくりを考えていく上で参考にいただければ幸いです。

問い合わせ 登別市総務部情報推進グループ

(広報広聴担当)

TEL : 0143-85-6586

FAX : 0143-85-1108

Eメール : pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

目 次

平成18年度 まちの予算	1
第1章 やさしさと共生するまち	
第1節 安心して子どもを生き育てられるまちをつくる	
I 子育ての不安と負担の軽減	5
II 児童虐待の防止	10
第2節 市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる	
I 市民の主体的な健康づくり意識の確立	10
II 保健予防活動の充実	11
III 地域医療の充実	12
第3節 誰もが安心して暮らせるまちをつくる	
I 地域で支え合う福祉活動の確立	14
II 高齢者福祉の確立	15
III 障がい者福祉の確立	21
IV 自立した暮らしへの支援	26
第4節 男女共同参画社会の実現	
I 男女の人権が尊重される社会の実現	27
II 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現	27
第2章 自然とともに暮らすまち	
第1節 環境への負荷の少ないまちをつくる	
I 環境に配慮した暮らしの構築	28
II 循環型社会の構築	28
III 生活排水の適正な処理	30
第2節 自然を生かした潤いのあるまちづくり	
I 人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出	31
第3節 安全に安心して暮らせるまちづくり	
I 総合防災体制の整備	33
II 消防・救急救助体制の充実	34
III 交通安全の推進	35
IV 安全な消費生活の確保	36
V 犯罪のない安全なまちづくり	37
VI 心配ごと・困りごとの解消	38
第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	
第1節 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	
I 魅力ある観光地づくり	39

II	域内経済循環の基礎となる複合的産業基盤の形成	40
III	活力ある地場企業の育成	41
IV	雇用と就業環境づくりの推進	43
第2節	自然を活かした産業の育成	
I	特色ある農業・漁業の推進	44
第4章	調和の中でふるさとを演出するまち	
第1節	暮らしやすい快適なまちをつくる	
I	計画的な都市空間づくり	49
II	地域景観の形成	49
第2節	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	
I	快適な住環境づくり	49
II	良好な居住空間づくり	49
第3節	道路交通網の整ったまちをつくる	
I	総合的な交通網の整備	50
第5章	豊かな個性と人間性を育むまち	
第1節	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	
I	市民の主体的な学習の推進	53
第2節	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	
I	子どもたちの生きる力を育む	54
II	地域に根ざした魅力ある学校づくり	56
III	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり	60
第3節	市民の個性ある文化活動と文化を育む	
I	市民の文化・芸術活動の育成・支援	61
II	文化の保存・継承	62
第4節	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	
I	生涯にわたるスポーツ活動の推進	64
第6章	担いあうまちづくり	
第1節	協働のまちづくりの推進	
I	協働の仕組みの構築	67
II	まちづくり活動の推進	67
III	協働のまちづくりを支える情報の公開と共有	68
第2節	交流によるまちづくりの推進	
I	国内における交流の場と機会の拡大	70
II	海外との交流の場と機会の拡大	71
III	定住の地を求める人の勧誘と定住支援	72
	問い合わせなどの電話番号	73

平成18年度 まちの予算

日本経済は、景気の拡大期間が続いており、すでにバブル期を超え、戦後最長の『いざなぎ景気』をも超えるとの予測も出ていますが、『地域間格差の拡大』という言葉に象徴されるように、大都市圏での景気の改善が目立つ一方、地方などへの広がり弱く、北海道の経済を見ると個人消費が緩やかな持ち直しの動きにとどまるなど、依然として厳しい経済環境にあります。

このような中、登別市の平成18年度当初予算は、景気低迷や固定資産の評価替えなどによる市税収入の落ち込みや実質的な地方交付税の削減など財源の確保が厳しくなることが見込まれる状況にあつて、職員数の削減や市独自の職員給与の減額などによる人件費の縮減、補助・助成金の見直し、事務事業の見直し、民間委託の積極的な推進を行うなど、経費全般にわたる徹底した節減合理化に努めました。

一般会計の主な歳入では、市税が49億6千196万円（対前年度比4.5%減）、地方交付税は50億3千200万円（同0.5%減）で、臨時財政対策債と合わせた実質的な交付税は55億6千390万円（同1.5%減）、市債は市営住宅建替事業充当債や登別温泉中央通り改良事業充当債など11億9千530万円を見込むほか、財政調整基金積立金から6億7千800万円、減債基金から1億7千938万円を取り崩すなどして、厳しい財政状況に対応します。

一般会計の主な歳出では、必ず支出しなければならない義務的経費について、人件費が4千475万円、扶助費が7千206万円がそれぞれ減少しましたが、公債費は8千830万円増加しました。

都市基盤整備など公共事業のために支出する『投資的経費』は、1億6千196万円減少（道道整備にかかる受託事業を除いた実質的な投資経費では2千090万円減）し、13億5千588万円となりました。

登別市の平成18年度当初予算総額は、全会計で405億5千930万円となりました。その内訳は、一般会計が197億6千400万円、6特別会計の合計が192億8千550万円、企業会計が15億980万円となっています。

『一般会計歳入』

- ◎市税…市民税や固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、特別土地保有税、入湯税があり、市の収入の約4分の1を占めています。
- ◎地方交付税…市が行わなければならない行政サービスを実施するため、財政状況に応じて国から配分されるお金。
- ◎使用料及び手数料…ごみ処理手数料や建築確認手数料、戸籍手数料など、利用した方が納める受益者負担金。
- ◎国庫（道）支出金…交付金や補助金、委託金があり、市が事業や事務を行うために国や道から交付されるお金。
- ◎繰入金…基金（家庭でいうと貯金）を取り崩して使用するお金。
- ◎諸収入…貯金の利子や貸付金の回収元金、利子、福祉施設に入所している方に負担金として納めていただくお金など。
- ◎市債…施設や道路などを整備する際、通常の財源だけでまかなうのが困難なため、借り入れするお金。
- ◎その他…自動車重量税や消費税などの税金の一部が国から交付されるお金など。

『一般会計歳出』

- ◎議会費…市議会に関することに使うお金。
- ◎総務費…国際交流や各地域との交流、広報広聴活動などに使うお金。
- ◎民生費…福祉に関することに使うお金。
- ◎衛生費…健康の増進や病気の予防、ごみの処理などに関することに使うお金。
- ◎労働費…労働に関することに使うお金。
- ◎農林水産業費…農業や水産業に関することに使うお金。
- ◎商工費…商工業に関することに使うお金。
- ◎土木費…都市基盤整備に関することに使うお金。
- ◎消防費…火災や救急業務に関することに使うお金。
- ◎教育費…教育に関することに使うお金。
- ◎公債費…借入金の返済に使うお金。
- ◎給与費…職員の給与に使うお金。
- ◎予備費…予備のお金。

特別会計・事業会計

『国民健康保険特別会計』

国民健康保険加入者の医療費の一部助成や各種検診の助成、健康づくりなどの事業を行います。

『学校給食事業特別会計』

子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を市内の小・中学校や保育所に調理・配送します。

『公共下水道事業特別会計』

都市基盤整備の一環である公共下水道を整備します。本年度は、登別方面の下水道を整備します。

この整備で、登別市の下水道普及率は約87%、整備面積は約1,036㎡になります。

若山浄化センターは、平成16年度から引き続き汚水処理施設の増設（3カ年計画）を行います。

公共下水道整備区域外となる『個別排水処理区域』では、住民の要望により、市が浄化槽を設置・維持管理をする『個別排水処理施設整備事業』を行います。

『老人保健特別会計』

高齢者の医療費負担を軽減するため、医療費の一部助成などを行います。

『簡易水道特別会計』

札内地区などの飲料・営農用水施設の整備を行います。

『介護保険特別会計』

介護が必要な高齢者などを対象に、在宅や施設での介護サービスを行います。

『水道事業会計』

安全で良質な水の供給やポンプ場の建設、送配水施設の整備などを行います。

各会計予算総括表

(単位：万円・%)

会計区分	平成18年度 当初予算額	平成17年度 当初予算額	比較増減	伸率 (%)
一般会計	1,976,400	1,965,200	11,200	0.6
特別会計	1,928,550	1,840,180	88,370	4.8
国民健康保険	612,360	592,310	20,050	3.4
学校給食事業	33,420	34,130	△ 710	△ 2.1
公共下水道事業	316,710	278,390	38,320	13.8
老人保健	673,700	653,560	20,140	3.1
簡易水道事業	4,260	4,980	△ 720	△ 14.5
介護保険	288,100	276,810	11,290	4.1
水道企業会計	150,980	149,860	1,120	0.7
収益的支出	92,530	93,970	△ 1,440	△ 1.5
資本的支出	58,450	55,890	2,560	4.6
合 計	4,055,930	3,955,240	100,690	2.5

一般会計歳入

(単位：万円・%)

費 目	平成18年度		平成17年度 当初予算額	比較増減	伸率 (%)
	当初予算額	構成比			
市税	496,196	25.1	519,591	△ 23,395	△ 4.5
地方交付税	503,200	25.5	505,700	△ 2,500	△ 0.5
使用料及び手数料	63,353	3.2	69,697	△ 6,344	△ 9.1
国庫支出金	230,748	11.7	257,051	△ 26,303	△ 10.2
道支出金	133,892	6.8	131,226	2,666	2.0
繰入金	147,361	7.5	105,548	41,813	39.6
諸収入	101,545	5.1	97,349	4,196	4.3
市債	119,530	6.0	116,450	3,080	2.6
その他	180,575	9.1	162,588	17,987	11.1
合 計	1,976,400	100.0	1,965,200	11,200	0.6

一般会計歳出

(単位：万円・%)

費 目	平成18年度		平成17年度 当初予算額	比較増減	伸率 (%)
	当初予算額	構成比			
議会費	16,622	0.8	16,864	△ 242	△ 1.4
総務費	88,017	4.4	92,622	△ 4,605	△ 5.0
民生費	594,050	30.1	577,415	16,635	2.9
衛生費	125,551	6.3	121,259	4,292	3.5
労働費	10,351	0.5	12,090	△ 1,739	△ 14.4
農林水産業費	28,755	1.5	7,005	21,750	310.5
商工費	34,688	1.8	32,996	1,692	5.1
土木費	222,531	11.3	251,761	△ 29,230	△ 11.6
消防費	8,967	0.5	11,908	△ 2,941	△ 24.7
教育費	97,990	5.0	97,592	398	0.4
公債費	314,603	15.9	305,794	8,809	2.9
給与費	429,275	21.7	432,894	△ 3,619	△ 0.8
予備費	5,000	0.2	5,000	0	0.0
合 計	1,976,400	100.0	1,965,200	11,200	0.6

第1章 やさしさと共生するまち

第1節 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

I 子育ての不安と負担の軽減

【目標：安心して子どもを産み、健やかに育てることのできるまちづくりを目指して子育てする人の不安と負担を解消する】

病院内等保育事業補助金 112万5千円

病院などに勤務する職員が安心して働くことができるよう、病院内や事業所内などで保育を行っている団体を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

日胆はまなす里親会補助金 3万円

児童の育成や里親制度の普及啓発などを行っている同里親会を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

放課後児童等衛生・安全対策事業費補助金 7万6千円（うち道5万円）

保育所入所児童の病気の感染を未然に防止するため、病院内や事業所内などで保育を行っている団体の職員の健康診断を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

乳幼児医療費助成経費 9千277万4千円（うち道4千22万2千円）

就学前の乳幼児が、病院などで診療を受けた場合の医療費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

ひとり親家庭等医療費助成経費 4千86万9千円（うち道1千843万4千円）

ひとり親家庭の母（父）と児童の保健の向上や福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

子育て支援センター運営経費 101万6千円（うち道98万7千円）

育児に不安などを感じている保護者に、育児相談や子育て講座を開催し、保護者の不安解消を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

子育て支援センター事業費 45万円

子育て週間の啓発、子育て情報紙の発行、お父さんの子育て手帳の作成、移動子育て広場を開催するなど、子育て家庭を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

家庭児童相談室・母子自立支援員経費 3万3千円

母子家庭の親や寡婦の自立と児童福祉の向上を図るため、母子自立・家庭相談員を配置します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

災害遺児手当支給経費 84万円

父母などが、交通事故などで死亡もしくは重度の障がいの状態となったとき、その児童を養育する保護者を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

仕事と家庭両立支援事業費（ファミリーサポートセンター事業） 711万9千円（うち国140万円）

保護者の仕事と子育ての両立できる環境をつくるため、ファミリーサポートセンターを開設しています。

センターでは、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助を行える人（提供会員）の会員登録を行い、依頼会員が残業や急用などのとき、提供会員が子どもを保育所などへの送迎や自宅で預かるなどの事業を行っています。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

こどもショートステイ事業 45万円（うち国13万円）

保護者が病気などにより、児童の養育が一時的に困難になった家庭の児童を、児童養護施設（わかすぎ学園・室蘭市母恋南町）で養育します（利用者は、所得に応じた費用を負担）。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

児童入所施設措置費（助産施設分） 70万円（うち国35万円、道17万5千円）

経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を、助産施設に入院させ、母子福祉の向上を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

産後子育てママ派遣事業費 84万8千円（うち国40万円）

産後間もない家庭で、育児や家事などの支援を行う家族などがいない世帯に、母親の体力的負担や子育ての不安を解消するため、ヘルパーを派遣し安心して日常生活が営めるよう支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

普通保育所運営管理経費 6千69万1千円

共働きや病人の介護などにより家庭における児童の保育が困難な世帯に、安心して子どもを生み育てることのできる環境と、充実した保育サービスを提供します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

幌別東保育所整備事業費 150万円

幌別東保育所の児童の安全を守るため、老朽化した玄関前の階段や手すりなどを整備します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

登別保育所運営管理業務委託経費 6千894万6千円

幼稚園と保育所の長所を取り入れた登別地区幼保一元化モデル事業を行うため、市立登別保育所の運営管理業務を学校法人登別立正学園に委託します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（交流事業） 79万2千円（うち国62万6千円）

保育所入所児童が、人々との交流を学ぶため、高齢者や異年齢児との交流を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（あそびの広場） 67万円（うち国52万9千円）

子育て支援センターで児童の健全育成を推進するため、乳幼児とその保護者を対象に親子遊びや交流を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（障がい児保育） 32万8千円

心身に障がいのある児童の発達を促すため、保育所で健常児と一緒に保育を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（延長保育） 61万6千円

保護者の勤務地や勤務時間などの都合による保育時間の延長ニーズが増えているため、保育所で延長保育を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（休日保育） 29万5千円

日曜日や休日に保育所入所児童の保護者が、勤務のため保育ができないときに、富士保育所で児童を保育します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（一時保育） 270万円（うち道 86万4千円）

保護者が、一時的に疾病や事故、災害などで家庭での保育ができないときに、児童を登別保育所で保育します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所の広域入所経費 166万2千円

勤務地の関係から、他市町村の保育所へ入所を希望する保護者の利便性を図るため、他市町村の保育所で児童の保育を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

児童館・児童センター運営管理経費 867万円

安心して子どもを生み、健やかに育つ環境をつくり、地域で担う子育てを支援するため、児童館などに児童厚生員を配置し、遊びを通して児童の健全育成を図ります。

NO	児童館名	住所	電話番号
1	登別児童館	登別東町4丁目19-2	83-3493
2	富浦児童館	富浦町1丁目52-3	83-1987
3	幌別児童館	幌別町4丁目10-3	85-2802
4	常盤児童館	常盤町2丁目34-1	85-1840
5	富士児童館	富士町1丁目1-4	85-7760
6	富浜児童館	栄町2丁目18-4	86-7187

7	美園児童センター	美園町5丁目36-4	86-4591
8	鷺別児童館	鷺別町1丁目36-3	86-2766
9	若草つどいセンター(児童室)	若草町4丁目21-1	86-1208

▶ 問い合わせ 子育てグループ

放課後児童クラブ運営経費 303万6千円

放課後児童クラブは、就労などにより昼間保護者のいない児童が、放課後や夏・冬・春休みの期間中、安心して過ごせる場所として設置しています。

富岸児童クラブ(富岸青少年会館内)、常盤児童クラブ(常盤児童館内)、若草児童クラブ(若草小学校内)、青葉児童クラブ(老人憩の家桜木の家内)

▶ 問い合わせ 子育てグループ

(仮称) 幌別西児童クラブ開設工事費 1千万円

幌別西小学校校舎内に、放課後児童クラブを設置します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園就園奨励費補助金 4千462万8千円(うち国1千85万9千円)

私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、個人市民税の所得割課税額が13万5,000円以下の世帯へ補助金を交付し支援します。

- ・第1子は、5万6,900円から14万500円まで。
- ・第2子は、8万円から18万5,000円まで。
- ・第3子以降は、10万3,000円から25万7,000円まで。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園特別就園奨励費補助金 628万円

私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、入園時に2万円の補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園教材教具費等補助金 240万8千円

市内の私立幼稚園に対し、教材教具の購入資金の一部を補助し、教育内容の充実を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園学校給食指導経費 64万7千円

市内の私立幼稚園に通園する5歳児を対象に、10日間程度の学校給食指導を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園協会教職員研修費補助金 50万円

『登別市私立幼稚園協会』教職員の研修費の一部を補助し、資質の向上を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

II 児童虐待の防止

【目標：安心して子どもを生み、健やかに育てることのできるまちづくりを目指して子どもの安全を確保する】

第2節 市民一人ひとりが生涯を通じて

健康に暮らせるまちをつくる

I 市民の主体的な健康づくり意識の確立

【目標：自らの健康は自らが守るという意識を醸成し、市民が主体的に健康づくりに取り組むことにより健康で元気に生活できる期間(健康寿命)」を伸ばす】

北海道難病連運営事業補助金 5万5千円

難病問題の社会的啓蒙や難病についての正しい知識の啓発を通して、難病患者とその家族の福祉の増進を図る財団法人北海道難病連を支援します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

室蘭地方腎友会補助金 2万円

腎臓病患者の自己管理上の知識習得や予防のための啓発、会員相互の交流などの活動を行っている同腎友会を支援します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

ヘルシークッキング教室経費 7万3千円

乳児期の適切な栄養摂取を推進するため、離乳食教室を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

健康づくり推進協議会経費 5万円

市民の健康づくり推進のため、老人保健法と母子保健法に基づいた実施計画の策定や運営について、協議を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

老人保健事業費

・健康手帳の交付 16万8千円（うち国4万6千円、道4万6千円）

健康管理を推進するため40歳以上の方に、健康データを記録できる健康手帳を交付します。

・健康教育 142万7千円（うち国40万6千円、道40万6千円）

健康の増進や生活習慣病などの知識の向上を図るため、40歳以上の方を対象にした医師や保健師、栄養士による健康に関する講演会などを開催します。

・健康相談 34万6千円（うち国3万2千円、道3万2千円）

生活習慣病についての相談や指導を行い、健康の保持・増進を図ります。

・健康診査 5千716万6千円（うち国610万8千円、道610万8千円）

病気の早期発見・早期治療の促進を目的に、基本健康診査や各種がん検診、C型肝炎検査などを行います。

・訪問指導 32万1千円（うち国5万8千円、道5万8千円）

保健師などが、健康診査で要注意と診断された方を訪問し、保健指導や栄養指導を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

II 保健予防活動の充実

【目標：市民が生涯にわたり心身の健康を確保できるよう、生涯各期に応じた適切な保健予防活動を推進する】

母と子の健康づくり事業費 978万円

・幼児歯科保健対策

フッ素塗布やむし歯予防の健康教室を行います。

・ **乳幼児健康診査**

(4カ月児健康診査、1歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査)

乳幼児の健康管理と育児支援のため、乳幼児健康診査を行います。

・ **健康相談**

8カ月児などを対象に育児相談、栄養相談を行います。

・ **妊婦健康診査**

妊娠期の健康診査の助成と、健康管理のための保健指導を行います。

・ **母子訪問指導**

保健師が、乳幼児のいる家庭を訪問し保健指導を行います。

・ **健やか親子教室**

赤ちゃん教室やマタニティ教室を開催し、親になる準備の支援や子育て支援を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

予防接種経費 5千455万9千円

乳幼児等の感染症による病気の発生を未然に防ぐため、BCG、ポリオ、麻疹風しん混合、三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）、インフルエンザなどの予防接種を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

エキノコックス症対策経費 49万7千円

肝機能に障害を引き起こすエキノコックス症の感染予防の周知や血清検査などを行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

女性の健康づくり推進経費 86万4千円

検診機会の少ない年代の女性を対象に健康診査を行い、生活習慣病の予防や健康づくりの意識高揚を図ります。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

Ⅲ 地域医療の充実

【目標：市民がいつでも適切な医療サービスを受けることができるよう地域医療体制の確保と救急医療体制を整備する】

地域医療対策等経費 48万2千円

年末年始や日曜日における歯科救急患者の診療を、室蘭歯科医師会と連携しながら確保します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

広域救急医療対策事業負担金 970万円

休日・夜間における外来患者や重症救急患者の診療を、室蘭市医師会や胆振西部医師会と連携しながら確保します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

小児救急医療支援事業負担金 260万円

休日・夜間における重症の小児救急患者の診療を、室蘭市医師会や胆振西部医師会と連携しながら確保します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

自動体外式除細動器購入費 191万5千円

運動中などの『突然死』を防止するため、市内の公共施設に、電気ショックを与えて心臓機能を回復させる自動体外式除細動器（AED）を設置して、救命措置を行う体制を整えます。

平成18年度設置施設

しんた21、市民プール、総合体育館、岡志別の森運動公園、
ネイチャーセンター

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

自動体外式除細動器購入費 58万円

各消防支署に自動体外式除細動器を整備し、救急車が出動などで現地到着に時間を要す場合など、消防車等で現地に向かい、救急車到着までの間、延命措置を行い救命効果の向上を図る。

▶ 問い合わせ 消防本部

救急救命士養成経費 371万6千円

救急体制を確立するため、年次的に救急救命士を養成しています。

平成18年度は、救急救命士を1人養成します。

平成17年度末 救急救命士 16人

▶ 問い合わせ 消防本部

第3節 誰もが安心して暮らせるまちをつくる

I 地域で支え合う福祉活動の確立

【目標：誰もが地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、地域で共に支え合う福祉の基盤をつくる】

民生委員児童委員協議会補助金 282万6千円

市内6地区の民生委員児童委員協議会の相互連携と活動を支援します。

(登別地区、中央東地区、中央西地区、緑陽地区、美園・若草地区、鷺別地区)

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

民生委員児童委員活動経費 900万7千円(うち道878万5千円)

高齢者や障がい者などの福祉問題の相談者として活躍する民生委員児童委員の活動を支援します。

民生委員児童委員数 129人

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

地域福祉活動促進事業補助金 1千466万1千円

社会福祉協議会が行う『ふれあいのまちづくり事業』や『ふれあい広場運営事業』などの事業費や、『登別市ボランティアセンター』の運営費の一部を支援します。

・ふれあいのまちづくり事業

市民が、介護やボランティア活動、法律、年金、保健などの生活・福祉問題について相談できる『ふくしなんでも相談』の実施や、ボランティア体験月間などが行われます。

・ふれあい広場運営事業

しんた21を会場にボランティア団体による手話や点字体験、車いすの試乗、ボランティア活動の紹介などが行われます。

・登別市ボランティアセンター(しんた21内)運営事業

ボランティアをしたい方や受けたい方の登録・紹介を行うほか、ボランティアに関する講演会の開催などボランティア活動を推進する機関です。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

社会福祉事業推進補助金 1千82万7千円

社会福祉協議会の福祉事業を推進するため、職員や福祉活動専門員を設置する経費を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

Ⅱ 高齢者福祉の確立

【目標：住み慣れた地域でいきいきとした生活を送る高齢者を増やす】

老人趣味の作業所運営経費 43万8千円

趣味を通じた高齢者の生きがいづくりを行うため、老人趣味の作業所を開設しています。

- ・ 事業内容…陶芸、手芸など
- ・ 場所…幌別町7丁目4-4

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人福祉センター祭経費 21万7千円

老人福祉センターを拠点に活動する各種サークルや老人クラブ連合会の芸能発表、作品の展示などを紹介し、高齢者の交流を図ります。

平成18年度は、9月16日（土）に開催を予定しています。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

長寿祝金等支給経費 45万3千円

高齢者の長寿を祝い100歳になられた方に『長寿祝金』を贈呈します。

平成18年度は、9人に贈呈を予定しています。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

生きがい対策事業補助金 20万円（うち道9万4千円）

登別市老人クラブ連合会が、高齢者の生きがい対策を目的に行う事業を支援します。

- ・ 主な事業…女性リーダー研修会、ゲートボール大会、
グラウンドゴルフ大会など

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人クラブ連合会補助金 100万円（うち道28万8千円）

高齢者福祉活動の中心的な役割を果たす老人クラブ連合会が行う事業を支援します。

- ・ **主な事業**…高齢者相互支援事業、社会奉仕活動の推進、交通安全、防災対策運動の推進、女性リーダーの育成推進、電話・移送サービス事業など

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人クラブ連合会40周年記念事業補助金 20万円

高齢者福祉活動の中心的役割を担う老人クラブ連合会の設立40周年の記念事業を支援します。

- ・ **主な事業**…記念式典、功労者表彰、記念誌の発行など

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人クラブ補助金 424万円（うち道96万2千円）

地域社会に貢献する老人クラブの行う事業を支援します。

（老人クラブ数 47団体）

- ・ **主な事業**…社会奉仕活動、世代間交流、交通安全運動、ゲートボール、パークゴルフ大会、室内ゲーム大会、芸術活動など

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

敬老会補助金 830万円

地域に貢献してきた高齢者を祝福するため、町内会などが行う71歳以上の方を対象とした敬老行事を支援します。

平成18年度の対象予定者数は、8千300人です。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

特別養護老人ホーム増築事業資金借入金元利補給金 2千359万6千円

特別養護老人ホーム緑風園に、入浴サービスと給食サービスを行うデイサービスセンターを設置した借入金の補給を行い、在宅寝たきり老人などの家族介護の支援を行います。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人憩の家整備委託経費 900万円

老朽化した『老人憩の家』の維持や補修について、町内会などに委託し整備を行います。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

地域総合整備資金貸付金（千寿会） 7千万円（うち市債7千万円）

高齢社会に対応する基盤整備を推進するため、医療法人社団千寿会が行う介護老人保健施設の増築を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

地域総合整備資金貸付金（三樹） 1億700万円（うち市債1億700万円）

高齢社会に対応する基盤整備を推進するため、株式会社三樹が行う有料老人ホームの建設を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

外国人高齢者・障がい者福祉給付金 36万円（うち道36万円）

国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障がい者が、安定した生活を送れるよう福祉年金を支給します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（高齢福祉・介護保険担当）

社会福祉法人利用者負担減免助成金 49万8千円（うち道37万3千円）

介護サービスを提供する社会福祉法人などが、生計の特に困難な方の利用者負担額を減免したときに費用の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（高齢福祉・介護保険担当）

配食サービス経費 863万8千円

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、心身に障がいがあり調理が困難な方に、週2回栄養バランスの取れた食事の提供を行います。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（高齢福祉・介護保険担当）

老人医療費助成経費（道老） 8千182万7千円（うち道4千91万3千円）

北海道は、高齢者の医療費の軽減を図るため、医療費の一部を助成しています。

※この助成制度は、対象年齢を毎年1歳ずつ引き上げ、平成20年3月末で廃止する予定です。

- ・ **道の助成対象**…昭和14年7月31日以前に生まれた70歳未満の一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯、高齢者と児童だけの世帯の方

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

養護老人ホーム恵寿園事業費 4千583万7千円

環境上の理由や経済的な理由により、居宅で養護を受けることが困難な高齢者を、養護老人ホームに入園させ、個人としての十分な尊重と共同生活の円滑化を図り、公共の福祉に配慮しながら運営します。

▶ 問い合わせ 恵寿園

恵寿園施設整備事業費 1千800万円（うち市債1千350万円）

養護老人ホーム恵寿園は、建築後31年が経過していることから、安全な施設運営を図るため、老朽化している給水・給湯設備の更新を行います。

▶ 問い合わせ 恵寿園

シルバー人材センター補助金 1千万円

高齢者が長年培ってきた知識や経験、技術などを生かし、就業機会の確保や生きがいの充実、社会参加を図る事業に取り組んでいる同センターを支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

介護保険

・介護認定審査会の運営 743万3千円

保健・福祉・医療の各分野の専門家30人で構成され、介護認定申請者にどの程度の介護が必要となるかを審査します。

・介護認定調査 1千667万8千円

介護認定申請者の介護認定を行うため、介護認定調査員が介護を必要とする方の身体の状況などの聞き取り調査を行います。

・ **介護保険運営協議会の運営 51万5千円**

介護保険運営協議会は、委員10人で構成し、国から義務付けられている『市町村介護保険事業計画』の進行や管理、予算、給付状況についての協議や苦情処理の審査などを行います。

【**地域支援事業**】

・ **介護予防事業費**

介護予防特定高齢者施策事業費 416万7千円

(うち国104万2千円、道52万円)

65歳以上で生活機能が低下している虚弱な方を対象に、通所型または訪問型の介護予防事業を行います。

介護予防一般高齢者施策事業費 76万3千円

(うち国19万円、道9万6千円)

一般の高齢者を対象に、介護予防や健康づくりを目的とした健康教室や健康相談、体力測定会を行います。

・ **包括的支援事業費 3千773万6千円**

(うち国1千528万3千円、道764万1千円)

高齢者が住みなれた地域で自立した生活を送れるように、介護・福祉・医療から生活面までのあらゆる相談・支援を、地域包括支援センターを中心にを行います。

・ **任意事業費 255万円 (うち国103万2千円、道51万6千円)**

高齢者ができる限り在宅で生活していただくために、住宅改修支援事業や家族介護慰労事業、介護用品(紙おむつ)の給付事業などを行います。

【**保険給付**】

・ **居宅介護・介護予防サービス計画給付費 1億1千229万3千円**

(うち国3千45万3千円、道1千403万7千円)

要介護・要支援被保険者が、指定居宅介護支援事業者の介護支援専門員(ケアマネジャー)に、居宅介護・介護予防サービス計画を作成してもらう費用の全額を給付します。

・ **特例居宅介護・介護予防サービス計画給付費 120万円**

(うち国32万5千円、道15万円)

要介護・要支援被保険者が、指定居宅介護支援事業者以外の支援事業者に依頼して、居宅介護・介護予防サービス計画を作成してもらう費用の全額を給付します。

- ・ **居宅介護・介護予防サービス給付費 7億3千994万1千円**
 (うち国2億69万2千円、道9千251万4千円)
 要介護・要支援被保険者が、在宅で訪問看護や通所介護などのサービスを受けた介護費用の9割を給付します。
- ・ **特例居宅介護・介護予防サービス給付費 70万円**
 (うち国19万円、道8万7千円)
 要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由で居宅サービスを受けた介護費用の9割を給付します。
- ・ **居宅介護・介護予防福祉用具の購入 678万円**
 (うち国184万円、道84万8千円)
 要介護・要支援被保険者が、購入した腰掛け便座や入浴補助用具など、一部の福祉用具の購入費の9割(限度額10万円)を給付します。
- ・ **居宅介護・介護予防住宅改修費 2千562万3千円**
 (うち国694万9千円、道320万2千円)
 要介護・要支援被保険者が、自宅の手すりの取り付けや段差解消などの小規模な住宅改修にかかる費用の9割(限度額20万円)を支給します。
- ・ **施設介護サービス給付費 14億436万2千円**
 (うち国3億8千86万2千円、道1億7千554万7千円)
 要介護被保険者が、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)や介護老人保健施設、介護療養型医療施設に入所し、介護サービスを受けた介護費用の9割を給付します。
- ・ **特例施設介護サービス給付費 100万円(うち国27万1千円、道12万5千円)**
 要介護被保険者が、要介護認定の申請前に、やむを得ない理由などで介護老人福祉施設などに入所し、サービスを受けた介護費用の9割を給付します。
- ・ **地域密着型介護・介護予防サービス給付費 2億4千287万5千円**
 (うち国6千586万8千円、道3千35万9千円)
 要介護・要支援被保険者が、グループホームなどの地域密着型サービスを利用した際に介護費用の9割を支給します。
- ・ **特例地域密着型介護・介護予防サービス給付費 70万円**
 (うち国19万円、道8万7千円)
 要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由などで地域密着型サービスを利用した際に介護費用の9割を給付します。
- ・ **特定入所者介護・介護予防サービス費 1億1千930万円**
 (うち国3千235万5千円、道1千491万2千円)
 低所得の要介護・要支援被保険者が、介護保険施設に入所・短期入所した際の食費・居住費の一部を給付します。

・ **特例特定入所者介護・介護予防サービス費 70万円**

(うち国 19万円、道 8万7千円)

低所得者が、要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由などで施設サービス・短期入所サービスを利用した際の食費・居住費の一部を支給します。

・ **高額介護・介護予防サービス費 3千30万3千円**

(うち国 821万8千円、道 378万8千円)

要介護・要支援被保険者の利用者負担額の軽減を図るため、一定額を超えた分を所得に応じて支給します。

・ **介護給付費請求書審査支払手数料 411万4千円**

(うち国 111万6千円、道 51万4千円)

要介護・要支援被保険者が、サービスを正しく利用されているかの内容を、国民健康保険連合会に審査してもらうための手数料です。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ (高齢福祉・介護保険担当)

Ⅲ 障がい者福祉の確立

【目標：住み慣れた地域で自立した生活を送る障がい者を増やす】

社会福祉施設入所者(児)面会旅費助成 20万円

道内の社会福祉施設に入所している方の家族の経済的負担を軽減するため、面会に要する交通費を年2回まで助成します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ (障害福祉担当)

重度身体障がい者(児)日常生活用具給付事業費 677万2千円

(うち国 338万5千円、道 134万3千円)

重度の障がい者が、日常生活を容易に営むことができるよう生活用具(特殊寝台など)を給付します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ (障害福祉担当)

身体障がい者自立更生促進助成事業経費 62万円

事業名	内容
自動車運転免許取得費助成	身体障害者手帳（1～4級）のある方の、自動車運転免許取得費用の一部を助成します
自動車改造費助成	身体障害者手帳（1・2級）のある方で、障がい部位が肢体の方が、就労などのため、自ら所有し使用する自動車の改造する費用の一部を助成します

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

重度心身障がい児介護手当給付費 804万円

心身に重度の障がいがある20歳未満の方を介護している保護者の経済的負担を軽減するため介護手当を支給します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

重度障がい者（児）福祉タクシー関係経費 698万8千円

バスなどの公共交通機関の利用困難な重度の身体障がい者が、タクシーを利用するときの料金を一部助成します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

身体障がい者自動車燃料費助成金 43万4千円

市から車いすを支給されている身体障がい者で、日常生活に使用する自動車の燃料費のうち、税額相当分を助成します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

心身障がい者地域共同作業所運営補助金 552万円（うち道276万円）

障がい者の能力を生かした生きがいや社会参加の促進、就業機会の増大を図る活動などを行う作業所を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

手をつなぐ育成会補助金 10万円

知的障がい者に対する理解やボランティア活動などの啓蒙を図り、知的障がい者の自立更生と社会参加活動の促進を図る同育成会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

視力障害者協会補助金 5万円

視覚障がい者に対する理解やボランティア活動などの啓蒙を図り、視力障がい者の自立更生と社会参加活動の促進を図る同協会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

登別身体障害者福祉協会補助金 46万円

身体障がい者の文化活動やスポーツなどを通し、障がい者の社会参加の促進などの活動を行う同協会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

肢体不自由児（者）父母の会補助金 20万円

肢体不自由児（者）の自立更生と社会参加を目的に活動する父母の会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

障害者福祉計画策定経費 15万8千円

障がい者の人権が社会の一員として尊重され、社会のあらゆる分野へ参加や参画することができる、やさしさと共生するまちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、『障害者福祉計画』を市民と協働で策定します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

小規模通所授産施設（すずかけ作業所）運営経費 56万円

就職困難な心身障がい者を通所させ、作業や生活の訓練を行い、社会人としての自立を図ります。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

精神障がい者社会復帰施設通所交通費助成金 19万5千円（うち道9万7千円）

精神障がい者の社会復帰や自立、社会経済活動への参加を図るため、通所授産施設や地域共同作業所などに通所する交通費を支援します。

また、地域の方に、精神保健に関する知識の普及や啓発活動を行う室蘭地区精神保健協会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

精神障がい者通所授産施設運営費補助金 126万6千円

相当程度の作業能力を有する精神障がい者に、訓練や指導などの社会復帰のための活動を行う医療法人社団千寿会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

西胆振精神障がい者家族会協議会運営事業補助金 3万円

精神障がい者とその家族の社会的自立を図るための研修会や地域社会とのコミュニケーション、親ぼく会を行う同協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

精神障がい者ボランティア活動支援事業補助金 20万円

（うち国10万円、道5万円）

精神障がい者の社会参加と社会復帰を目指す登別回復者クラブ『ひまわりサークル』が行う活動を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

第55回全道身体障害者福祉大会補助金 100万円

ノーマライゼーション理念の普及と障がい者の社会参加活動の促進を目的に開催する第55回全道身体障害者福祉大会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

第50回精神保健北海道大会補助金 5万円

地域住民の精神保健に関する知識の普及や理解などを目的に開催する第50回精神保健北海道大会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

重度心身障がい者医療費助成経費 2億341万6千円（うち道6千945万6千円）

身体障害者手帳を交付されている重度（1級、2級、3級【内部障がい】）の障がいのある方や重度の知的障がいと診断された方の医療費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

のぞみ園運営管理経費 150万6千円

障がい児の日常生活訓練や療育相談などを行い、児童の健全育成を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

障がい認定審査会経費 479万9千円

障がい者の介護給付サービスにあたり、障がい程度区分認定のため審査を行います（委員10人、年間20回を開催予定）。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

施設入所支援介護給付費 4億3千152万9千円

介護要支援の該当になった障がい者の施設入所などにかかる費用を給付します。

身体障がい者施設等入所者 49人

知的障がい者施設等入所者 120人

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

居宅介護給付費 4千627万9千円

介護要支援の該当になった障がい者の居宅支援などにかかる費用を給付します。

身体障がい者居宅サービス 93人

知的障がい者居宅サービス 15人

精神障がい者居宅サービス 15人

児童居宅サービスほか 70人

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

自立訓練・就労移行支援等給付費 7千420万5千円

介護要支援の該当になった障がい者の自立訓練や就労移行支援などにかかる費用を給付します。

知的障がい者グループホーム 38人

通勤寮 3人

精神障がい者グループホーム 17人

身体障がい者デイサービス 70人

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

自立支援医療費 949万円

介護要支援の該当になった障がい者の自立支援医療（更生医療）にかかる医療費を支援します。

身体障がい者の更生医療にかかる見込み人数 78人

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

身体障がい者補装具給付費 2千896万2千円

(うち国1千448万1千円、道305万4千円)

身体障がい者の日常生活で、身体機能を補うために用いる補装具の交付や修理を行います。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ (障害福祉担当)

高額障がい者福祉サービス経費 369万6千円

同一世帯の中で、障がい福祉サービスを利用する方がいる場合や、障害福祉サービスを利用している方が介護保険のサービスを利用した場合でも、月額上限額(4区分)は変わらないことから、利用者の負担を軽減するため、これを超えた分を高額福祉サービス費として支給します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ (障害福祉担当)

IV 自立した暮らしへの支援

【目標:生活基盤の弱い立場にある市民の生活安定と経済的自立の促進を図る。ひとり親家庭等の社会参加機会の拡大及び生活の安定を図る】

社会福祉協議会貸付金(たすけあい金庫) 500万円

所得の低い世帯などに、応急援護や高額療養費などの資金を貸し付けし、その世帯の自立更生と生活安定を図る同協議会を支援します。

▼ 問い合わせ 社会福祉グループ

自立支援教育訓練給付金 60万円(うち国45万円)

母子家庭の母が、生活の安定を図るため、職業相談を通じて、自主的に職業能力開発を行う方に教育訓練終了後、訓練給付金を支給します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

災害見舞金 51万円

災害により、大きな被害を受けた市民に見舞金を支給します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

第4節 男女共同参画社会の実現

I 男女の人権が尊重される社会の実現

【目標：男女共同参画社会の実現を図るため、男女の人権が尊重される社会を実現する】

男女共同参画社会づくり推進経費 21万円

女性と男性がお互いの人権を尊重し合い、それぞれの個性と能力を発揮しながら、共に支え合う男女共同参画社会の形成を目指します。

- ・ **男女共同参画社会づくりの推進**…『登別市男女共同参画基本計画（のぼりべつ・はあもにいプラン21）』の着実な推進を図ります。男女共同参画講演会、学習会などの開催、男女共同参画を推進する市民団体の活動を支援します。
- ・ **民間シェルター運営補助金**…夫や恋人などの暴力から逃れる女性の心身の安全確保や自立のための支援を行っている民間シェルター『ウイメンズネット・マサカーネ』の運営を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

II 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現

【目標：男女共同参画社会の実現を図るため、男女があらゆる分野に参画することができる社会を実現する】

三市合同女性国内派遣研修負担金 21万円

地域で活動している女性を先進地に派遣し、全国各地における女性の社会参加や地域活動、学習活動について研修を行います（参加者は参加経費の一部を負担）。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

婦人活動振興助成金 37万円

市内各地区の婦人会などの団体に構成され、研修会や婦人大会を開催しているほか、地域イベントなどに積極的に参加し、まちづくりの活動を行っている登別市婦人団体連絡協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第2章 自然とともに暮らすまち

第1節 環境への負荷の少ないまちをつくる

I 環境に配慮した暮らしの構築

【目標：一人でも多くの市民が環境問題に理解と関心を持ち、それぞれの立場で環境に配慮した暮らし方を構築する】

総合的な環境保全の推進経費 52万5千円

登別市環境基本計画に基づく施策の進行管理を行います。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

野犬掃討、畜犬登録等経費 878万6千円

犬による人や家畜などへの危害を防止するため、野犬掃討や畜犬の登録、狂犬病の予防注射を行います。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

公害対策経費 145万4千円

美しい自然を守り、住みよい環境をつくるために交通騒音調査や河川の水質測定調査、大気中のダイオキシン類の測定調査などを行います。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

II 循環型社会の構築

【目標：循環型社会の構築を目指し、ごみの減量化やリサイクル活動の促進と廃棄物の適正な処理を行う】

ごみ減量化推進等経費

・リサイクル・ごみ減量化啓発経費 103万4千円

びんやペットボトルなどの資源ごみを回収し、ごみの減量化や資源の再利用を図るほか、ガーデニング講習会やリサイクル教室などを開催してリサイクルに対する意識の高揚を図ります。

・ **ごみ袋管理経費 3千414万8千円**

費用負担の公平化やごみの減量、処理費用の軽減などを図るため、家庭から排出されるごみの有料化を継続実施し、指定ごみ袋などの製作と管理を行います。

・ **ごみステーションネット化推進事業補助金 16万8千円**

ごみステーションに出されたごみにネットを掛けることで、周辺的美観や衛生を保持し、ごみ収集の効率化を図るため、町内会などに対し、ごみネット購入費の一部助成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

・ **生ごみ堆肥化容器購入費補助金 5万円**

家庭から出される生ごみの減量化とごみの有効利用を目的に、生ごみ堆肥化容器購入費の一部助成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

不法投棄等防止経費 17万5千円

不法投棄やポイ捨て防止のため、防止看板などを設置します。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

衛生団体連合会運営事業助成金 50万円

町内会などで組織し、地域内の美化実践活動を推進する登別市衛生団体連合会を支援します。

事業内容

春・秋の登別クリーン作戦

清潔で美しいまちづくりのための各種事業の啓発活動

ごみの減量やリサイクルの普及・啓発

ごみステーションの管理

クリーンリーダーの育成

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

資源回収団体奨励金 555万円

新聞紙や金属類、びんなどの再利用が可能な資源の回収を行う町内会や子ども会などの登録団体に奨励金を交付します。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

リサイクルまつり開催経費 27万2千円

リサイクルまつりを通して、市民にごみの減量やリサイクル意識の啓発を促し、循環型社会の形成に努めます。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

じんがい 塵芥収集運搬業務委託 1億1千718万円

家庭から出された燃やせるごみ・燃やせないごみ、資源ごみ、粗大ごみの収集や運搬を行います。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

クリンクルセンター、最終処分場運営管理経費 7億3千558万3千円

クリンクルセンターや廃棄物管理型最終処分場、埋め立て処分の終了した千歳最終処分場をそれぞれ適正に運営管理します。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

Ⅲ 生活排水の適正な処理

【目標：生活排水等を適正に処理することにより水質汚濁を防ぎ、環境負荷を軽減する】

公共施設水洗化事業費 1千560万円（うち市債100万円）

平成18年度は、老人憩の家『光和園』・『桜美園』・『富久寿園』、美園児童センターを水洗化します。

▶ 問い合わせ 財政グループ

し尿収集運搬業務委託 5千775万円

し尿処理世帯 約5千500世帯

し尿収集量 約1万1千^{キロリットル}

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

し尿処理施設整備事業費 1千万円

老朽化している現施設を補修整備し、し尿などを適正に処理します。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

第2節 自然を生かした潤いのあるまちづくり

I 人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出

【目標：自然環境学習を充実し、自然や緑の保全に努める】

葬斎場運営管理経費 1千398万4千円

葬斎場の機械設備などを保守点検整備し、適正な運営管理に努めます。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

墓地管理経費 853万2千円

墓地内を計画的に整備し、景観の回復を図ります。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

市民農園経費 51万円

自然とのふれあいや高齢者の生きがいづくりなどの場として開園します。

- ・ 開設期間… 4月下旬～10月下旬
 - ・ 場所… 札内町204-1
 - ・ 区画数… 40区画（1区画約50平方メートル）
 - ・ 施設… 水道施設、簡易トイレ
 - ・ 利用料… 1区画7千円
- ▶ 問い合わせ 農林水産グループ

森林愛護啓蒙事業補助金 11万円

山火事や遭難防止のために、巡視活動や啓発チラシの配布、看板などの設置を行い、入山者へのマナー遵守の呼びかけを行う森林愛護組合連合会を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

民有林造林推進事業補助金 859万9千円（うち道385万9千円）

森林の荒廃を防ぎ、森林資源を守るため、植栽や間伐、幼木を保護するための草刈りなどを行う森林所有者を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

森林整備地域活動支援交付金 127万9千円

(うち国63万9千円、道31万9千円)

森林所有者の経営意欲の低下や林業従事者の減少、高齢化などにより森林の適切な管理活動が十分に行われなくなっており、このままでは森林が及ぼす多面的機能に支障が生ずる恐れがあるため、森林所有者による計画的な森林施業が適切に行われるようその活動を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

亀田記念公園整備事業費 4千万円(うち市債3千万円)

高齢者や障がい者などが安全で快適に利用できるよう『北海道福祉のまちづくり条例』に基づく施設整備の基準により、施設のバリアフリー化を図りながら整備を行います。

整備内容一園路などの勾配緩和、施設出入口の段差解消、
照明灯及び放送設備の充実

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

キウシト湿原緑地保全事業費 7千46万7千円

(うち国2千550万円、市債3千640万円)

環境省から重要湿地に選ばれているキウシト湿原の保全に必要な用地を取得するとともに、保全に向けた対策・工法を検討するための地下水調査、施設整備に向けた実施設計及び立ち入り防止柵の設置を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

緑化推進経費 477万3千円

- ・ **市民緑化推進事業**…町内会などを対象に、希望する樹木や多年草などを配布し、公園などの公共施設に植栽します。
- ・ **沿道美化事業**…道道弁景幌別線などの沿道花壇へ、町内会や商店会などの参加のもと、花植えを年2回行います。(春…パンジー、夏…ベゴニア)
- ・ **市民記念植樹事業**…結婚や誕生などの記念植樹者を募り、記念者やその家族による植樹を秋に行います。
- ・ **沿道緑化推進事業**…みどりの少ない国道沿いの空き地や道道沿いの植樹ますに市民が中心となって植栽を行います。
- ・ **試験育苗事業**…町内会などの協力のもと、ビニールハウス内で種から花苗を育てる試験育苗を行います。
- ・ 『みどりの講演会』『みどりの教室』など…自然やみどりについての講演会や家庭園芸などの講習会を開きます。

- ・**グリーンデータバンク**…家庭で不要になった樹木などの有効活用を図るため、樹木の提供情報などを『広報のぼりべつ』に掲載するとともに、受け取り希望者への仲介を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

幌別鉄南地区海浜地緑化経費 49万4千円

地域のみどりの環境づくりを進めるため、地域住民と協働で海浜地に植樹を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

ネイチャーセンター運営管理経費 2千849万円

宿泊型の自然体験学習施設『ふおれすと鉱山』では、人と自然のふれあう場として、自然環境に配慮・調和したさまざまな体験活動ができます。

自然を教材にした多彩なプログラムの提供や日常の調査から得た旬の自然情報を発信します。

▶ 問い合わせ ネイチャーセンター

第3節 安全に安心して暮らせるまちづくり

I 総合防災体制の整備

【目標：万が一の災害に備えた心構えなどの普及啓発や防災機材の整備や地域防災組織の整備促進、非常用食糧の適正な備蓄、未整備河川の改修整備を進める】

防災資機材購入整備費補助金 120万円

町内会などによる自主防災組織の防災活動に要する資機材購入に対し、補助金を交付し防災活動を支援するとともに意識の高揚を図ります。

▶ 問い合わせ 総務グループ

ハザードマップ作成経費 400万円（うち道110万円）

災害から市民の生命・財産を守るため、災害による被害予測や避難場所などを掲載したハザードマップを平成17・18年度の2カ年で作成し、全戸配布します。

▶ 問い合わせ 総務グループ

鉾山地区防災行政無線整備費 89万7千円

鉾山地区の災害発生時やふおれすと鉾山での体験学習などの緊急時の連絡を行うため、ふおれすと鉾山に防災行政無線を整備します。

▶ 問い合わせ ネイチャーセンター

林業振興経費 255万2千円

森林資源の保護や巡視活動などによる林野火災予防の啓発、治山施設の維持管理などを行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

登別温泉中央通り道路災害防除事業費 2千730万円

(うち国1千350万円、市債600万円)

登別温泉町の五色橋～曙橋間のがけ崩れを防止するため、昨年度に引き続きのり面(急斜面)保護工を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

河川用地測量経費 60万円

河川の管理を円滑に行うため、普通河川・準用河川の現況調査や用地確定測量を年次的に行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

河川維持補修事業経費 346万円

市内を流れる川の河川敷の草刈りを行うほか、昨年引き続き、大雨による川の氾濫被害を防ぐため、河川内の土砂などの除去を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

河川防護柵設置事業費 100万円

伏古別川に防護柵を設置します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

II 消防・救急救助体制の充実

【目標：火災予防活動の強化や消防団の活性化など総合的な消防力を強化し、火災発生や被害を防ぐ】

消防用機器(空気呼吸器)購入費 1千339万8千円(うち道1千132万6千円)

消防用機器の整備を行い、消防活動の円滑化を図ります。

▶ 問い合わせ 消防本部

消防施設等維持補修経費 51万3千円

老朽化の著しい消防施設の補修を行い、職場環境の改善と施設の延命を図ります。

▶ 問い合わせ 消防本部

消火栓整備事業費 455万1千円(うち道312万8千円)

老朽化の著しい消火栓10基の整備・更新を行います。

▶ 問い合わせ 消防本部

Ⅲ 交通安全の推進

【目標：交通安全意識の高揚と交通安全施設の整備を進め、交通事故を防止する】

交通安全推進経費 199万9千円

幼稚園や学校、老人クラブなどで交通安全教室を行うとともに、交通安全運動を通じて市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に努めます。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

交通傷害保険料 240万円

少額な保険料で、市民を交通事故によるけがなどから保障します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

交通安全協会交付金 430万円

交通安全思想の普及や高揚を図るため、指導教育活動や広報活動などの活動を行う交通安全協会を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

照明灯設置事業費 100万円

交差点などの交通安全対策のため、幹線道路や通学路に照明灯を設置します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

カーブミラー設置費 100万円

見通しの悪い交差点などに設置し、交通事故の防止を図ります。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

美園57号線歩道新設事業費 2千200万円（うち市債1千980万円）

平成7年度から行っているJR室蘭本線沿いの美園57号線（若草町）の歩道新設工事を、平成20年度完成を目指して平成18年度も引き続き行います（延長100m）。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

ロードマーク設置経費 210万円

車両通行の安全を確保するため、市道の路面上にセンターラインなどの表示を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

IV 安全な消費生活の確保

【目標：市民の消費生活の安全と安定の確保を図る】

消費者行政推進経費 29万2千円

消費生活に関する相談や物価調査結果の集計、量目の調査を行い、市民の消費生活の安定と向上を図ります。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

消費生活モニター関係経費 26万2千円

市が委嘱する消費生活モニター（10名）が、生鮮食料品や日用雑貨などの35品目について、月1回、価格変動や商品陳列の状況（商品供給状況）、産地表示の状況などを調査します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

登別消費者協会運営助成金 18万5千円

物価の調査や監視、消費生活相談など、消費者擁護のために活動する登別消費者協会を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

消費生活展開催補助金 30万円

商品の安全性やリサイクルなどを実演や展示で紹介し、商品の正しい知識の普及や啓発を行う登別消費者協会が行う消費生活展を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

V 犯罪のない安全なまちづくり

【目標：犯罪のない安心・安全なまちをつくり、市民の生命、身体及び財産を保護する】

国民保護協議会経費 32万7千円

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関し、広く市民の意見を求め、その措置に関する施策を総合的に推進するため、協議会を設置し、重要事項を審議します。

▶ 問い合わせ 総務グループ

社会を明るくする運動登別地区実施委員会負担金 18万円

社会を明るくする運動登別地区実施委員会が行う街頭啓発、公開ケース研究会など犯罪防止啓発事業を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

防犯灯設置事業補助金 600万円

町内会などが地域の安全を確保するために整備する防犯灯の設置費や改修費を補助します。(補助率 3分の2以内)

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

室蘭登別防犯協会連合会助成金 65万円

犯罪の未然防止と暴力を追放し、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて活動する室蘭登別防犯協会連合会を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金 50万円

市内から暴力団を追放・排除し、安全で安心して暮らせる明るいまちづくりの実現に向けて活動する登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

登別地区保護司会補助金 25万円

過去に罪を犯した方の更生を助けるとともに、犯罪予防の啓発に努め、個人や公共の福祉に寄与し、明るい社会を実現するため活動する登別地区保護司会を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

VI 心配ごと・困りごとの解消

【目標：専門家による相談の機会を増やし、より多くの困りごとの解消に努める】

無料法律相談業務経費 37万8千円

交通事故や金銭貸借、損害賠償などに関する法律問題を解決するため、鉄南ふれあいセンターと弁護士事務所で弁護士による相談を行います。

- ・鉄南ふれあいセンターでの相談…月1回、定員6人
- ・弁護士事務所での相談…月6人

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち

第1節 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる

I 魅力ある観光地づくり

【目標：他の観光地との差別化を意識し、豊かな温泉に加え、自然、農業、漁業、文化、スポーツなどの地域資源を活用した魅力ある観光地をつくる】

登別市・白老町観光連絡協議会負担金 150万円

観光産業の育成と強化を図るため、広域で誘客事業に取り組む同協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

観光客誘致促進事業費 445万7千円

観光客誘致のため、各種イベントへの参加やパンフレット、リーフレットの作成などを行い、登別の観光を広く周知し観光客の増加を図ります。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

登別観光協会助成金 1千250万円

新しい時代のニーズに対応できる観光地づくりを推進するため、その重要な役割を担う観光協会を支援します。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

登別観光協会特別助成金（衛生設備整備事業分） 1千300万円

ホテルや旅館が設置している専用水道施設の高機能ろ過施設整備に対し、助成金を交付します。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

観光ホスピタリティ推進事業補助金 90万円

観光ボランティアガイドの養成や活動の支援のほか、観光ホスピタリティの啓発活動を行います。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

観光振興特別対策事業補助金 4千500万円

登別観光協会が行う国内外の誘客宣伝や修学旅行誘致道外キャンペーン、登別地獄まつりなどの事業を支援します。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

国立公園内観光施設維持管理事業 413万円

各種観光施設の清掃と、安全、快適に利用していただくための管理を行います。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

カルルス・サン・スポーツランド運営管理経費 221万3千円

市民や観光客のスポーツニーズに対応するため、同施設を適正に維持管理します。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

市営カルルス温泉スキー場運営管理経費 1千202万9千円

冬期間における観光客のニーズ対応や市民のスポーツレクリエーションなどの振興のため、同施設を管理します。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

温泉供給施設維持管理経費 1千649万6千円

上登別地区に安定した温泉を供給するために、施設の維持や補修などを行います。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

II 域内経済循環の基礎となる複合的産業基盤の形成

【目標：観光産業を軸に複合的産業基盤を形成し、域内の経済循環を構築する】

起業化支援事業補助金 600万円

市内において、地域の資源や技術を活用した地場製品の創出や新たな技術の事業化、新たなサービスの提供を行う起業家の事業を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

ものづくり創出支援事業負担金 260万円

室蘭テクノセンターが行う『ものづくり創出支援事業』に対し、市内中小企業などが活用した経費を負担します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

登別市・白老町生活関連産業事業化共同研究事業負担金 150万円

地域における生活産業の創出を図るため、具体的な事業化に向けた共同研究を北海道、白老町と行います。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

産業クラスター形成計画推進経費 190万2千円

地域再生計画『産業クラスター形成計画』の推進と『登別市産業クラスター形成協議会』の活動を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

Ⅲ 活力ある地場企業の育成

【目標：地場企業の経営体質の改善、経営基盤の強化、経営の多角化、業種転換等を支援し、活力ある地場企業を育成する】

札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費 8万4千円

札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流を図ります。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

商工会議所事業推進職員設置補助金 153万4千円

登別商工会議所が行う各種事業の推進と関係機関との連携強化のため、商工会議所に派遣する市職員に係る経費の一部を補助します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

中小企業相談事業補助金 800万円

商工業者の経営の安定化や健全化を目的に登別商工会議所中小企業相談所が行う金融や経営などの相談事業を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

中小企業特別融資利子補給金 53万5千円

中小企業特別融資制度の一部の資金を利用した方の負担軽減を図るため、借入金の利子の一部を負担します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

商業活性化イベント事業補助金 39万9千円

商店会または商店会が中心となって組織された団体が、商業の振興や地域経済の活性化のため、地域住民と共同で行うイベントに対し、補助金を交付します。

鷺別地区	鷺別手づくり夏祭り
若草・新生地区	グリーンピア・サマーフェスティバル
登別地区	わくわく広場のぼりべつ

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

物産展参加補助金 30万円

地場製品の紹介や宣伝、販路拡大のため、姉妹都市白石市の農業祭や各都市で開催されるイベントなどへ出展するのぼりべつ物産会の事業を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

中小企業特別融資積立金 1億4千200万円

中小企業者の資金調達の円滑化や資金確保の環境づくりを進めるため、低利の融資を行います。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

住宅改良促進特別融資積立金 4千700万円

市民の住環境の向上と地場における住宅関連産業の振興育成を図るため、住宅の改良を行う方に、低利の融資を行います。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

新産業創造活動事業補助金 90万円

地域の特性や技術などを活用した新技術、新製品、新サービスなどの研究・開発事業を行う団体などを支援し、複合産業の基盤をつくります。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

創造的産業活動育成事業補助金 100万円

登別商工会議所が行う中小企業経営革新セミナー・起業家セミナー・PPP研究会を内容とする『創造的産業活動育成事業』を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

IV 雇用と就業環境づくりの推進

【目標：観光産業を軸に複合的産業基盤を形成し、雇用と就業の場をつくる】

雇用対策救援事業費 2千508万1千円

公共施設の清掃や通学路などの除雪作業を委託し、雇用の場の確保を図ります。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

労働振興事業助成金 100万円

市内労働者の雇用環境改善などを目的に労働相談事業を実施する労働組合団体に対し、助成金を交付します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

勤労者特別融資積立金 4千100万円

市内に居住する勤労者の生活安定を目的に、生活などに必要な資金の融資を行います。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

高校生のための企業見学会経費 15万円

厳しい就職状況におかれている高校生の就職活動を支援するため、登別・室蘭・伊達の3市が合同で管内の企業見学会を行います。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

事業所内職業訓練助成金 210万円

登別地方高等職業訓練校で行う木造建築科やOAシステム科など6科目の訓練事業に助成します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

職業訓練センター整備事業費 907万7千円

道道の拡幅に伴い駐車場が狭隘になるため、代替地を取得し整備します。
また、トイレの水洗化を図ります。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

第2節 自然を活かした産業の育成

I 特色ある農業・漁業の推進

【目標：観光産業と連携した特色ある農業・漁業を推進する】

担い手育成総合支援協議会負担金 4万円

農業従事者の担い手の確保と育成を図り、国際競争力のある農業を確立し、豊かな農村生活の実践と活力ある地域社会の形成を図るための活動を行う登別市担い手育成総合支援協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

有害鳥獣駆除経費 60万7千円

キツネ・鹿・カラスによる農業被害などを最小限に食い止めるため駆除を行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

農業振興特別補助金 1千65万円

土地改良事業の実施に伴う農業者の負担軽減を図るため、補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

農業経営基盤強化資金利子補給金 5万7千円（うち道2万8千円）

農業経営改善計画等の認定を受けた農業者及び法人（認定農業者）の利子補給金を交付し、農業経営の安定を図ります（道と市が各1/2利子を補給）。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

胆振西部乳牛検定組合補助金 43万7千円

胆振西部乳牛検定組合に補助金を交付し活動を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

畜産環境施設等整備事業費

家畜排泄物を適正に管理するため、家畜排泄物処理施設の整備が必要な農業者に対し、次の2事業により整備を支援します。

・資源リサイクル畜産環境整備負担金 1千860万1千円

処理施設や堆肥還元用草地などを整備し、家畜排泄物の有機質資源としての有効活用を進めます。

・畜産環境整備事業指導連絡調整事務費 17万3千円

資源リサイクル畜産環境整備事業の円滑な推進を図るため、農業開発公社から指導連絡調整業務を受託し、事業参加者の調整を行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

市営牧場管理経費 304万5千円

草地不足の酪農家の育成牛などを市牧場（鉾山町）で預託することにより、飼養管理、労働の省力化を図ります。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

受精卵移植推進協議会補助金 45万円

乳牛や肉牛への受精卵移植の研究や受精卵移植技術者の養成などの支援を行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

酪農ヘルパー事業運営補助金 72万円

酪農ヘルパーの導入により酪農家の休暇取得が可能となり、ゆとりある酪農経営の確立と傷病などによる負担を軽減して、経営の安定を図ります。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

農業用施設等管理経費 155万5千円（うち道4万5千円）

農業用排水路などの施設の補修などを行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

中山間地域等直接支払交付金 177万円（うち国88万4千円、道44万2千円）

鉾山町の急傾斜など地理的条件の不利な農地の保全や急傾斜を起因とした雨水による土砂の河川への流出を防ぎます。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

特定農山村地域活動支援事業費

高収益・高付加価値型農業の展開や多様な担い手育成、地域間交流促進のための事業を計画的に取り組むために、特定農山村総合支援事業実施市町村の指定を受けたことから、地域の実情に応じた次の事業を計画的に行います。

・シカの農作物等食害対策事業費 25万円

シカによる農作物などの食害を防止するために、受益者の負担が少なく実効性のある食害防止策の先進的事例調査と、地域に存在する資源をシカの忌避剤（きひざい）としての利用の可能性について試験研究を実施します。

・乳質改善事業費 44万2千円

消費者の酪農に対する信頼性を確保するために、生産者と農業協同組合、共済組合など関係機関との連携により乳質改善向上対策を行います。

・担い手農業者等支援事業費 17万6千円

次代を担う農業者を、各種研修会や講習会へ派遣して農業経営に希望と意欲を持って取り組むことが出来るよう支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

札内高原館運営管理経費 538万3千円

コミュニティの場としての活用を図るとともに、社会教育施設として観光客や地域住民を対象としたソーセージやバターづくり、蕎麦うちなどの加工体験学習を引き続き行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

登別救難所運営事業補助金 27万5千円

海難事故が発生した場合の救出や救助に備えた訓練などの活動を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

漁業近代化資金利子補給金 67万円

漁業経営の近代化を促進し、負担を軽減するため、漁業近代化資金に係る借入金利子の1%を負担します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

漁港まつり運営費補助金 38万円

地場水産物のPRと消費拡大、漁港愛護の啓蒙、漁港を核とした地域の振興発展を目的に開催される登別漁港まつりの運営を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

エゾバフンウニ種苗放流事業補助金 100万円

資源づくり事業を推進するため、エゾバフンウニの種苗を中間育成し、放流の事業を行ういぶり中央漁業協同組合を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

漁業専門員設置補助金 120万円

地域海洋特性に適した魚介類の栽培や新しい資源づくりを推進するため、いぶり中央漁業協同組合や白老町と広域的に専門員を配置し、漁家経営の安定を図ります。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

いぶり中央漁業協同組合青年部・女性部合同研修事業補助金 25万円

地元水産物の地産地消や直販事業など、新たな販売手法の検討を行ういぶり中央漁業協同組合の研修事業に補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

沿岸漁業漁村振興構造改善事業補助金 2億1千23万3千円

(うち道2億1千23万3千円)

登別漁港で水揚げされた水産物の鮮度の良さや安全性、信頼性を兼ね備えた供給体制を確立するため、漁獲から出荷まで一貫した衛生管理体制を構築するいぶり中央漁協が行なう高度衛生管理型、登別漁港水産物荷捌所（製氷・冷蔵施設併設）建設に対する北海道の補助金を市が受け、事業実施者であるいぶり中央漁協に補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

沿岸漁業構造改善事業補助金 699万5千円

登別漁港で水揚げされた水産物の鮮度の良さや安全性、信頼性を兼ね備えた供給体制を確立するため、漁獲から出荷まで一貫した衛生管理体制を構築するいぶり中央漁協が行なう高度衛生管理型、登別漁港水産物荷捌所（製氷・冷蔵施設併設）建設及び水道管敷設工事を支援します。（10年計画）

なお、登別漁港水産物荷捌所建設は、北海道と登別市、白老町との連携により支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

登別漁港維持管理事業補助金 32万円（うち道32万円）

登別漁港の軽易な維持管理と港内照明灯電気料金を補助します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

鷺別漁港維持管理事業補助金 10万4千円（うち道4万円）

鷺別漁港内の照明灯電気料金を補助します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

水産業振興対策事業補助金 3万3千円

漁業雑肥や加工残渣（ざんさ）を魚油（ぎょゆ）や魚粕（さかなかす）に加工して資源の有効活用を図り、漁業者や水産加工業者の処理費の軽減を行い経営の安定を図るため、ミールプラントの整備に係る借入金の利子を負担します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第1節 暮らしやすい快適なまちをつくる

I 計画的な都市空間づくり

【目標：人口減少社会にふさわしいコンパクトで快適な都市空間をつくる】

II 地域景観の形成

【目標：登別の地域特性に合った都市景観を創出する】

第2節 良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる

I 快適な住環境づくり

【目標：快適な居住環境を整え、日常生活にやすらぎや、うるおいのある生活環境の改善を目指す】

公園・街路樹維持管理経費 1億126万8千円

市内117カ所の公園や広場の遊具、照明灯、樹木などを適正に維持管理します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

街区公園等清掃交付金 71万円

公園や広場の清掃や草刈りなど維持管理業務の一部を協力していただいた町内会などに交付金を交付します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

II 良好な居住空間づくり

【目標：地域の特性を活かした宅地の確保や、生活に合った暮らしやすい住宅建設を進め居住空間の改善に努めます】

市営住宅改善事業費（高齢者・障がい者施策） 225万円

市営住宅に居住する高齢者や身体に障がいのある方が、日常生活を過ごしやすいよう住宅内の段差解消や玄関・トイレ・浴室への手すり取り付けなどの改善を行います。

▶ 問い合わせ 建築住宅グループ

市営住宅（幌別東団地）建替事業費 8千581万1千円

（うち国3千701万6千円、市債4千520万円）

市営住宅ストック総合活用計画に基づいて、平成16・17年度で建て替えた幌別東団地1棟20戸（4階建てエレベーター付き）に接続して、平成18・19年度で24戸4階建て住宅を建設します。

▶ 問い合わせ 建築住宅グループ

第3節 道路交通網の整ったまちをつくる

I 総合的な交通網の整備

【目標：快適な交通網の整備を促進する】

鉾山地域住民タクシー経費 51万9千円

鉾山地域住民の交通の便を確保するため、タクシー料金の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

生活交通路線維持対策事業費補助金 677万4千円

市民生活に必要なバス路線の維持が、自家用車の普及により困難になっていることから、国や北海道と適切な役割分担を図りながら、乗合バス事業者に補助金を交付し、バス路線を維持します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

道路台帳図作成委託費 650万円

市道を適切に管理するための道路台帳図を作成します。

▶ 問い合わせ 管理グループ

市道用地確定測量委託 330万5千円

市道を適切に管理するため、道路整備を完了している市道で未処理用地となっている用地の現況測量や用地確定測量を年次的に行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

市道用地買収事業 643万4千円

市道の未処理用地や事業に伴う用地の買収を行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ・土木公園グループ

広域幹線、市内幹線道路網の整備

・カルルス路線改良事業費 1億30万円（うち国6千万円、市債3千800万円）

幌別市街地とカルルス温泉を結ぶ幹線道路の一部（延長50㍎、幅員7.5㍎）の改良工事などを行います。

・富岸西路線改良事業費 7千830万円

（うち国4千680万円、市債2千960万円）

亀田記念公園入口付近から道道上登別室蘭線までの道路の一部（延長140㍎、幅員16㍎）の改良舗装や用地買収などを行います。

・中央通り改良事業費 7千430万円（うち国4千440万円、市債2千810万円）

北海道ソーダ裏通り踏切から岡志別の森運動公園までの道路の一部（延長230㍎、幅員16㍎）の改良舗装などを行います。

・市道舗装排水整備事業費 1億200万円（うち市債5千240万円）

市道の改良や舗装、排水整備を行います。

・カルルス路線外1改良事業費 1千500万円（うち市債1千350万円）

ホテル岩井からカルルス温泉市街地の道路の一部（延長23.3㍎、幅員7.5㍎）の改良舗装と寿橋の実施設計を行います。

・登別温泉中央通り外1改良事業費 5千500万円（うち市債4千950万円）

登別温泉バイパス（道道倶多楽湖公園線）事業に関連し、市道の橋梁整備（延長21.8㍎）や用地買収、移転補償を行うとともに、登別温泉中央通り道路災害防除事業に関連する市道の路肩拡幅工事（延長148㍎、幅員7.5㍎）を行います。

・新川50号線外1改良事業費 1千100万円（うち市債990万円）

道立登別明日中等教育学校寄宿舎建設予定地前の市道の改良舗装（延長132㍎、幅員7.5㍎）を行います。

・ **東町 34 号線改良事業費 1 千万円（うち市債 900 万円）**

登別消防署前の市道の両歩道を拡幅整備（延長 50 ㍎、歩道幅員 3.5 ㍎）
します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

市道常時補修費 6 千 670 万円

歩行者及び通行車両の安全を確保するため、市道を適切に維持管理します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

除雪委託費 4 千万円

冬期間における歩行者や通行車両の安全を確保するため、市道の除雪や融雪剤の散布を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

冬道対策経費 667 万円

冬期間における歩行者や通行車両の安全を確保するため、融雪剤購入、ロードヒーティング設備や砂箱の修繕を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

橋梁維持補修事業 498 万円

歩行者や通行車両の安全を確保するため、橋梁の維持管理・補修を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

地籍調査管理経費 86 万円

過年度地籍調査事業の成果の閲覧や調査を行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

第1節 生涯にわたって学び続ける社会をつくる

I 市民の主体的な学習の推進

【目標：生涯にわたって学び続ける社会をつくるため、市民の主体的な学習を推進する】

生涯学習推進経費 46万円

市民が、生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を目指します。

- ・ **生涯学習情報の提供**…市内で取り組まれている生涯学習の情報などを掲載した生涯学習ニュース『明日をひらく窓』の家庭版を年3回発行し、幼稚園児や小・中学生のいる家庭へ配布します。また、市などが行う生涯学習活動の予定を掲載した『生涯学習ガイド』を年6回発行します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市民生涯学習推進講座経費 338万7千円

- ・ **ときめき大学**…60歳以上の市民を対象に、親ぼくを図り、生きがいのある人生観を持つことを目的にさまざまな知識や教養を身に付け、地域社会に役立てていただくため『ときめき大学』を開設しています。

平成18年度の学生数は577人です。

- ・ **婦人短期大学**…女性が生きがいのある豊かな人生を築くための教養を深め、その知識を社会に役立ててもらうため『婦人短期大学』を開設しています。

平成18年度の学生数は211人です。

- ・ **家庭教育学級**…家庭での教育力の向上のため、幼稚園児や小学生をもつ親が自主企画しながら子育てに関する学習会などを行う『家庭教育学級』を開設しています。

平成18年4月現在、13学級です（私立幼稚園4学級、小学校9学級）。

- ・ **市民マイプラン講座**…団体やサークルなどが自主的に行う学習会を、1団体につき1回を限度に支援します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

婦人研修の家維持管理経費 474万5千円

市内8カ所の婦人研修の家の整備や管理を行います。

婦人研修の家名	住 所	電話番号
カルルス婦人研修の家	カルルス町27-1	84-2172
常盤婦人研修の家	常盤町2丁目34-1	85-8039
柏木婦人研修の家	柏木町4丁目24-8	85-1079
桜木婦人研修の家	桜木町2丁目15-17	
新川婦人研修の家	新川町4丁目15-11	
栄婦人研修の家	栄町2丁目7-5	86-9918
美園婦人研修の家	美園町4丁目8-9	86-6975
若草婦人研修の家	若草町2丁目2-7	86-9919

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

公民館運営管理経費 157万1千円

市内3カ所の公民館の運営管理を行います。

公民館名	住 所	電話番号
登別温泉公民館	登別温泉町17	84-3365
登別公民館	登別東町2丁目21-1	83-3265
鷺別公民館	鷺別町3丁目3-4	86-8823

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

図書館運営管理経費 2千276万3千円

図書資料の整備や図書の購入をはじめ、『文化講演会』『読書感想文・読書感想画コンクール』『年長児の読書感想画募集』などを行います。

▶ 問い合わせ 市立図書館

移動図書館車運行業務委託料 301万5千円

本の貸し出し、読書活動の推進を図るため、移動図書館車を民間委託し、サービス等の向上を図ります。

▶ 問い合わせ 市立図書館

第2節 学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む

I 子どもたちの生きる力を育む

【目標：自ら学び、自ら考えるなど「生きる力」の育成に努める】

スクールカウンセラー活動経費 21万円

小・中学校におけるいじめや不登校などの問題行動について、臨床心理士などの専門家を学校に配置し、児童・生徒へのカウンセリング体制の充実を図ります。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

心の教室相談員活動経費 151万9千円

生徒たちの不安やストレスなどを和らげ、心のゆとりを持てるよう、友人関係や進路、親子関係、登校拒否などについての相談を相談員が受けます。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

子どもと親の相談員活用経費 35万円（うち国35万円）

小学校に『子どもと親の相談員』を配置し、不登校などの早期発見・早期対応や未然防止に関する調査研究を行います。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

不登校・いじめ等対策経費 14万円

- ・教育相談・いじめ相談…専門相談員を2人配置し、電話や来室による相談を受けます（月～金曜日の9時～17時）。
- ・不登校・いじめ等対策会議…校長会や教頭会の代表、小・中学校教諭、教育委員会（補導センターを含む）など30人で構成される同会議を年2回開催します。

【学校訪問や実態調査の実施】

- ・『いじめ学習資料』の配布…小学5年生、中学1年生。
- ・保護者向け広報誌『手をつなぐ親と子』の発行…幼稚園や小・中学校の家庭を対象に発行。
- ・教職員（幼稚園、小・中学校）を対象とした研修会…年2回開催。
- ・不登校児童生徒をかかえる保護者懇談会…毎月第2火曜日
- ・ふれあいサポート懇談会…指導体制・実態についての情報交流や、自然体験学習・宿泊交流学习などの実施、スクールカウンセラーの活用についての協議を行う同懇談会を年3回程度開催。また、各中学校区の地区別交流会を年2回開催。
- ・登別市小・中・高等学校合同生徒指導担当者（部長）連絡会議…年2回開催。
- ・登別市小学校及び中学校生徒指導担当者（部長）連絡会議…小・中学校それぞれ年3回開催。

・登別市中学校・高等学校合同生徒指導担当者（部長）連絡会議…年3回開催。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

学力向上対策経費 247万3千円

学習状況の実態を把握するため、小・中学校で標準学力検査を行います。

- ・小学校…国語、算数
- ・中学校…国語、数学、英語

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

児童生徒健康診断等経費 2千105万4千円

市内の小中学校の児童・生徒の健康管理のため健康診断を行います。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

学校医等表彰経費 14万円

市内の小中学校の児童・生徒等の健康増進と保健教育の振興に貢献した学校医、歯科医、薬剤師を表彰します。

10年以上・20年以上・30年以上の表彰

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

中学校体育連盟助成金 146万円

中学校の体育を振興し、健康なスポーツを通して、生徒の健康増進や生徒間交流を図るため、各種大会を主催する中学校体育連盟に助成金を交付します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

II 地域に根ざした魅力ある学校づくり

【目標：地域に根ざした特色ある教育活動を進め、開かれた学校づくりに努める】

学園広報経費 11万3千円

日本工学院北海道専門学校と共同で、保護者や生徒を対象とした相談会を開催し、市のPRを行い、学生の募集活動を行います。

- ・開催時期…10月・2月（2回）
- ・開催場所…全道各地

▶ 問い合わせ 総務グループ

教育実践研究奨励経費 82万8千円

市内小・中学校の教育レベルを高めるため、実践奨励校ごとに研究主題を定め、その成果を公開研究会で発表するとともに、研究紀要を作成します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

言語障がい通級指導教室運営経費 24万6千円

言語治療を必要とする幼児・児童を対象に、ことばの教室を開設し、言語障がい児教育の充実・伸展を図ります。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

教育研究会運営事業費補助金 100万円

職務遂行上、必要な専門知識の向上を図るため、教職員自ら教育のあり方を研究している登別市教育研究会の運営を支援します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特殊教育就学奨励費（小・中学校） 157万2千円（うち国78万4千円）

特殊学級に就学している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な費用を援助します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

小中学校情報教育推進事業費 5千103万6千円

高度情報通信ネットワーク社会の進展に対応し、児童・生徒がパソコンなどの情報通信機器を使い、さまざまな情報を主体的に選択・活用することができる能力の育成を図ります。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

自然体験学習推進経費 100万8千円

ネイチャーセンター『ふおれすと鉾山』を利活用し、児童・生徒が動植物の観察などの自然体験を行います。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特色ある学校づくり推進経費 603万2千円

- ・ **登別温泉入浴体験**…市内の小学3年生を対象に、登別温泉入浴体験を行います。
 - ・ **総合的な学習活動の研究推進**…自由な学習環境の中で学ぶ総合学習の推進を図ります。
 - ・ **生活科の実施**…児童の健やかな成長をはぐくむため、小動物の飼育や学校菜園を通して、命の尊さや自然に親しむ心を育てます。
- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

外国青年招致経費 521万円

生きた英語を指導する外国人英語指導助手（AET）を活用し、英語を使ったコミュニケーション能力の育成などを図ります。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

私立高等学校教育振興補助金 688万円

入学金の一部を助成し、私学教育の振興を図ります。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

スクールバス運行事業 525万円

札内町と来馬町に居住し、幌別小学校と幌別中学校に通学する児童・生徒を送迎するため、スクールバスを運行します。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

児童生徒遠距離通学費補助金 414万7千円

バスで通学する小・中学生の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付します。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

登別温泉小学校開校100周年及び閉校記念事業補助金 60万円

開校100周年を迎える登別温泉小学校の記念行事を支援します。

また、児童数の減少により平成19年度から登別小学校と校区を一体化するために閉校する登別温泉小学校の閉校記念行事を支援します。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

北海道登別高等学校閉校記念事業補助金 50万円

公立高等学校の適正配置計画により、平成19年3月をもって閉校する北海道登別高等学校の閉校記念事業を支援します。

▶ 問い合わせ 総務グループ（教育）

特別活動推進経費（小学校） 27万円

児童会やクラブ活動など、児童による自主的・実践的な活動を助長します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別支援教育推進経費（小学校） 169万円

心身に障がいのある児童の障がいの状況を的確に把握し、一人ひとりの自立心を最大限伸ばせるよう支援します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

登別小学校暖房設備整備事業費 1千万円（うち市債750万円）

暖房能力の低下で学校生活に支障をきたしている箇所を年次的に改修し、教育環境の改善を図ります。

平成18年度 登別小学校

▶ 問い合わせ 総務グループ（教育）

青葉小学校周辺整備事業費 100万円

老朽化した小学校校舎周辺の整備を年次的に進めます。

整備対象項目－給水、衛生設備、舗装、敷地排水、グラウンド整備、
その他附帯施設

平成18年度 青葉小学校

▶ 問い合わせ 総務グループ（教育）

登別市特殊教育振興協議会交流学習事業補助金 35万3千円

心身に障がいのある児童・生徒の能力と個性を最大限に伸ばし、将来社会人としての自立と参加を目指すため、特殊教育指導内容の研究と実践を図ります。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別活動推進経費（中学校） 265万円

部活動などを通じた生徒による自主的・実践的な活動を助長します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別支援教育推進経費（中学校） 110万5千円

心身に障がいのある生徒の障がいの状況を的確に把握し、一人ひとりの自立心を最大限伸ばせるよう支援します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

鷺別中学校暖房設備整備事業費 500万円（うち市債370万円）

暖房能力の低下で学校生活に支障をきたしている箇所を年次的に改修し、教育環境の改善を図ります。

平成18年度 鷺別中学校

▶ 問い合わせ 総務グループ（教育）

P T A 連合会助成金 30万円

市内の小・中学校と高等学校のP T Aで構成する登別市P T A連合会の活動（研究大会、母親研修会、広報誌の発行など）を通して、市内各学校のP T Aの緊密な連絡調整と、教育の充実発展を図るため、助成金を交付します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

Ⅲ 青少年が健やかに地域で育つ環境づくり

【目標：青少年の非行の未然防止に努める】

子ども地域交流プラザ実施経費 30万円

平成14年度から学校週5日制が完全実施されたため、地域に根ざした活動を充実・発展させ、地域社会や学校、家庭が一体となった運営体制を確立できるよう『子ども地域交流プラザ運営委員会』を中心に、さまざまな事業を各中学校区で展開します。

- ・ **子ども地域交流プラザ運営委員会**…校長会や各中学校区、登別温泉、札内・来馬地区運営委員会、登別市子ども会育成連絡協議会ほか
- ・ **5中学校区、登別温泉地区、札内・来馬地区運営委員会（7地区）**…地域の特性を生かした事業計画を立案し、地域の連携協力のもと、各種事業を行います。
- ・ 『**ふるさとYou・遊ガイド**』の発行…市内の名所や史跡、公共施設などを紹介した同ガイドを小学1年生全員に配布します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

登別市子ども地域交流プラザ事業補助金 100万円

『ふれあい農園』や『どろんこまつり』『巡視船体験乗船』などの事業を行っている登別市子ども地域交流プラザ運営委員会に補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

青少年育成指導経費 167万6千円

青少年の非行防止を図るため、補導センターや青少年問題協議会を運営し、専任補導員や補導委員による巡回、育成だよりの発行などを行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

成人祭経費 60万3千円

登別市成人祭実行委員会主催による成人祭を開催します。

平成18年度は、平成19年1月7日（日）に開催する予定です。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

少年の主張大会経費 5万円

中学生が、日常生活の体験や日ごろ考えていることを広く訴えます。

平成18年度は、6月6日（火）に登別中学校を会場に開催します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

子ども会活動振興助成金 83万円

登別市子ども会育成連絡協議会が主催する『こいのぼりマラソン大会』や『かるた大会』などの活動を支援します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第3節 市民の個性ある文化活動と文化を育む

I 市民の文化・芸術活動の育成・支援

【目標：文化情報の収集と周知に努めるとともに、文化の創造的な活動を活性化するため、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供に努める】

市民会館整備事業費 2千450万円（うち市債1千720万円）

市民の文化活動の拠点となる市民会館は、開館20年を経過し、施設が老朽化したため、年次的に改修を行います。

また、障がい者などに配慮したトイレの洋式化と手すりの設置を行います。

事業内容 屋上防水改修工事・トイレ改修工事

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

三市合同文化事業負担金 100万円

登別市・室蘭市・伊達市合同で舞台芸術鑑賞の機会を提供します。

平成18年度は、登別市で開催します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

中学校音楽祭経費 28万1千円

市民会館大ホールを会場に、市内5中学校の代表クラスや合唱部、吹奏楽部、マンドリンギター部などの生徒が、合唱や合奏など、日ごろの練習の成果を披露します。

平成18年度 10月10日（火）開催予定。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

児童生徒文化振興助成金 50万円

市内の小・中学校、高等学校に在籍する児童・生徒が、全道・全国大会に出場する際に、保護者の負担を軽減するため、経費の一部を助成します

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

文化振興助成金 80万円

『市民文化祭』や『胆振芸術祭』、『文化表彰』などを行っている登別市文化協会の活動を支援します。

平成17年度末の加盟団体数は、35団体です。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

II 文化の保存・継承

【目標：文化財や郷土芸能などの文化遺産の積極的な保護と活用に努める】

知里幸恵フォーラム'06 事業補助金 12万円

知里幸恵の生涯と業績を後世に伝えるため、市民団体が開催するフォーラム、講演、フィールドワークなどへの支援を行います。

▶ 問い合わせ 企画グループ

アイヌ文化普及啓発事業補助金 20万円

アイヌ民族の社会的地位の向上と文化の保存や伝承、普及、発展を図るため、北海道ウタリ協会登別支部が行っている事業を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

アイヌ文化講座経費 32万8千円

ウタリ住民の生活の安定と社会的地位や経済的向上を図るとともに、地域の方にアイヌ伝承文化を理解していただくために講座を開催します

事業内容 アイヌ刺しゅう、トマ織り教室の開催、
アイヌ民族衣装展『ピリカノカ』の開催

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

アイヌ民族文化祭補助金 3万円

アイヌ民族の社会的地位の向上と文化の保存や伝承、普及、発展を図るため、北海道ウタリ協会が行っている事業を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

郷土資料館運営管理経費 219万8千円

郷土の歴史や民俗、産業、文化に関する資料を収集、保管、展示します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

文化財保護経費 24万6千円

登別市文化財審議会を開催と文化財保護に関する調査研究などを行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

文化伝承館運営管理経費 22万6千円

郷土の歴史や文化に関する講習会、研究会、体験学習などを行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

(仮称) 登別温泉文化交流施設整備事業費 5千413万3千円

(うち国1千592万8千円、市債1千990万円)

旧登別温泉中学校を文化の拠点の施設に整備を行い、複合的な機能をもった文化交流施設として活用します。

活用方法

- (1) 市内で発掘された埋蔵文化財の展示や保管、さらには体験学習の場
- (2) 市民の文化サークル活動や文化作品の展示場
- (3) そのほか、胆振管内の教職員の研修や研究の場

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第4節 スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす

I 生涯にわたるスポーツ活動の推進

【目標：体力づくりを推進し、健康で活力ある生活を目指す】

体育指導委員会経費 115万円

体育指導委員会は、スポーツ振興の進行役やコーディネーターとしての役割など、生活に直結した体育・スポーツの振興を図ることを目的として設置されています(スポーツ振興法)。

委員数は15人で、各種講習会での指導や市民ラジオ体操会、市民体力テスト会などへの協力を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

学校開放事業費 449万9千円

市内に居住または通勤している方を含む10人以上のグループに、学校の体育施設を、スポーツ活動の場として開放します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成事業 65万円

市民のラジオ体操会や体力テスト会、スポーツ団体などの指導者育成研修を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

三市スポーツ大会事業費 28万5千円

登別市・室蘭市・伊達市の子どもたちがスポーツを通し、交流を深めます。

夏季は陸上競技（室蘭市入江陸上競技場）、冬季は歩くスキー（伊達市）を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

体育協会助成金 80万円

スポーツの振興を図る登別市体育協会の活動を支援し、助成金を交付します。

平成17年度末の加盟団体数は、21団体です。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

スポーツ少年団育成助成金 50万円

リーダー養成事業や競技別交流会などを行う登別市スポーツ少年団の活動を支援し、スポーツの振興を図るため、助成金を交付します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

児童生徒スポーツ振興助成金 300万円

市内の小・中学校、高等学校に在籍する児童・生徒が、全国・全道大会に参加する際、参加者の負担を軽減するため、経費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

総合体育館駐車場整備事業費 500万円

道道上登別室蘭線の拡幅整備に伴い駐車場が支障物件となることから、体育館横のパークゴルフ場を駐車場として整備します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

若山浄化センター内パークゴルフ場整備事業費 500万円

道道上登別室蘭線の拡幅整備に伴い、総合体育館横のパークゴルフ練習場を駐車場として活用するため、代替地として若山浄化センター敷地内にパークゴルフ場を整備します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市営プール解体経費 824万円

道道上登別室蘭線の拡幅整備に伴い市営プールが用地買収の対象となり、取り壊す必要があることから解体します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

青少年会館運営管理経費 1千861万3千円

市内4カ所の青少年会館を運営管理し、市民の学習活動やサークル活動などの推進を図ります。

運営管理業務は、社団法人登別市シルバー人材センターに委託します。

青少年会館名	住 所	電話番号
登別市青少年会館	中央町5丁目21-12	85-3107
登別東青少年会館	登別本町1丁目18-4	83-3399
富岸青少年会館	富岸町2丁目23-15	86-2449
鷺別青少年会館	鷺別町4丁目36-38	86-6515

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市民プール運営管理経費 4千483万円

市民の幅広いニーズに対応し、公認競技用プールの機能やアクアスポーツ普及のための機能、水の効能を生かした健康増進機能を確保することにより、市民の健康増進と余暇の健全な活用を図ります。

運営管理業務は、財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に委託します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市民プールバスパック業務委託料 37万8千円

市民プールの利用者増を図るため、路線バス運賃とプール入館料をセットにした『バスパック』を行っています。

業務は、財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に委託します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第6章 担いあうまちづくり

第1節 協働のまちづくりの推進

I 協働の仕組みの構築

【目標：市民と行政との情報共有を進め、協働のまちづくりを推進する】

II まちづくり活動の推進

【目標：まちづくり活動団体に対する支援を強化するとともに、地域担当職員を定め、町内会との連携を図ります】

市民憲章推進協議会助成金 15万円

市民憲章の周知を図るとともに、より豊かな郷土づくりを目指し、『花いっぱい運動』の実施や『まちづくり市民のつどい』の開催、『市民憲章だより』を発行している登別市民憲章推進協議会の活動を支援するため助成金を交付します。

▶ 問い合わせ 企画グループ

コミュニティ助成事業補助金 250万円

財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、コミュニティ組織への支援を行います。

団体数…1団体（和太鼓青嵐）

▶ 問い合わせ 企画グループ

連合町内会助成金 240万円

登別市連合町内会の活動を支援します。

登別市連合町内会は、登別温泉地区、登別地区、鉄南地区、札内・来馬地区、中央地区、幌別西地区、青葉地区、富岸地区、新生地区、鷺別地区、美園・若草地区の11地区の連合町内会で構成されています。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

町内会運営助成金 2千670万円

地域の発展を目的に活動する町内会、町会、自治会の運営を支援します。

助成金は、団体制や世帯割、会館割、防犯灯割で交付され、地域の美化清掃をはじめ、敬老会や祭典、新年会、防犯灯・会館の維持管理などに利用されています。

・町内会等…98

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

登別温泉ふれあいセンター運営管理経費 1千435万円

図書コーナー、パソコンコーナー、展示コーナー、多目的ホールなどを設置しています。

▶ 問い合わせ 登別温泉ふれあいセンター

のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業費 29万5千円

個人のグループや企業・各種団体が、道路や公園・広場、河川の里親になり、ボランティアで清掃美化活動を行うアダプトプログラム『のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業』を行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

Ⅲ 協働のまちづくりを支える情報の公開と共有

【目標：協働のまちづくりを進め、市民の意見が的確に行政に反映することを目的として、パブリックコメント制度を確立します】

広報等経費 1千342万1千円

- ・ **広報のぼりべつの発行**…市の財政状況や事業・プロジェクトの紹介、直面している課題などについて、写真やグラフなどを用いて分かりやすく紹介する特集を組むほか、活躍している市民や催し、お知らせ、募集などを掲載した広報紙を毎月1日に発行します。
- ・ **広報ビデオの制作**…市内で行われる行事や取り組みなどの中からテーマを絞り、広報ビデオを制作します。

- ・ **各種懇談会の開催**…市が直面している問題や地域の問題などについて、連合町内会を単位に、市長をはじめとする市の幹部と話し合う『地区懇談会』を開催するほか、まちづくりなどについて市長とひざを交えて話し合う『市長室フリータイム』、市職員が地域の抱える問題を町内会等单位できめ細かくお聞きする『地区課題（要望）』、市職員が市の事業や制度について分かりやすく紹介する『市職員出前フリートーク』などを開催し、情報の共有化と意見・提案の集約を図ります。
 - ・ **見学会の開催**…市民や市内の団体を対象に、公共施設やまちの産業などを見学する『市民見学会』を春と秋の年2回開催するほか、室蘭市・伊達市と共同でそれぞれの市の公共施設や産業などを見学する『三市合同施設見学会』を年1回開催します。
- ▶ 問い合わせ 情報推進グループ（広報広聴担当）

市民ニーズアンケート調査経費 47万3千円

地方分権の進展や少子高齢化社会を迎える中で、市民との協働のまちづくりを進めるにあたり、多様化する各年代層の市民ニーズを的確に把握するため、市民ニーズアンケート調査を行います。

- ▶ 問い合わせ 情報推進グループ（広報広聴担当）

地域情報化推進経費

・ **OA化推進経費 1千209万7千円**

従来からの事務処理の効率化を目標とした『OA化』に止まることなく、住民の視点に立った行政サービスの質的向上と情報ニーズへの的確な対応を図ります。

・ **地域イントラネット維持管理経費 2千20万1千円**

市内小・中学校や市役所などの公共施設38カ所を結ぶ光ファイバーネットワーク機材などの保守と、適切な運用を図ります。

・ **地域情報センター維持管理経費 915万4千円**

登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した地域情報センター（愛称『PIP（ピッピ）』）は、インターネット接続や各種アプリケーションソフト、映像装置を設置するなど市民が情報通信技術に親しめる拠点です。

- ▶ 問い合わせ 情報推進グループ（情報政策担当）

電子計算機運用処理委託料 1千512万円

ホストコンピュータ（汎用機、周辺装置、端末機器等）を利用した住民記録や税等の業務システムを安定的に運用するため民間に委託します。

▶ 問い合わせ 情報推進グループ（情報政策担当）

北海道電子自治体共同システム運用経費 367万1千円

電子自治体の実現に向けて構築した各種システムの共通基盤や市町村電子申請システムを北海道と道内市町村が共同で運用します。

▶ 問い合わせ 情報推進グループ（情報政策担当）

共同電算調査研究負担金 301万9千円

西胆振の市町村が、それぞれ構築・運用を行っている行政情報システムについて、共通のシステムを利用することで運用経費の削減や専門知識を有する職員の確保など、各市町村の負担のスリム化が図られることから、共同でシステム運用を可能とする手法としてアウトソーシングについて調査研究を行います。

▶ 問い合わせ 情報推進グループ（情報政策担当）

第2節 交流によるまちづくりの推進

I 国内における交流の場と機会の拡大

【目標：広域交流を推進し、地域の活性化に努めるとともに、新しいまちづくりを推進する】

登別・白石姉妹都市交流推進協議会助成金 21万円

姉妹都市の宮城県白石市と産業や経済、文化、スポーツ、福祉などの活動を通して友好・親善を図っている同協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 総務グループ

東京登別げんきかい交流経費 59万3千円

首都圏などに在住する登別市出身者やゆかりのある方で構成される『東京登別げんきかい』の活動を支援します。

平成17年度末現在の会員数は個人487人です。

▶ 問い合わせ 企画グループ

ふるさと大使経費 6万円

登別市にゆかりのある方を『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）に委嘱し、さまざまな機会に登別市を宣伝してもらおうとともに、まちづくり情報などを提供してもらいます。

▶ 問い合わせ 企画グループ

札幌のぼりべつ会交流事業 3万8千円

札幌圏在住の登別市出身者やゆかりのある方たちで構成される『札幌のぼりべつ会』の活動を支援します。

平成17年度末現在の会員数は個人83人、法人10団体です。

▶ 問い合わせ 企画グループ

姉妹都市小中学校交流事業補助金 32万円

姉妹都市の宮城県白石市の小・中学生が、市内の小・中学生と学校間交流を行い、互いのまちの歴史を学び、交流を深めます。

また、交流を推進する『姉妹都市小中学校交流事業実行委員会』に補助金を交付し、活動を支援します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

姉妹都市スポーツ交流事業助成金 180万円

姉妹都市の宮城県白石市と少年サッカー大会や水泳大会を通して交流を深めるため、『登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流団』と『姉妹都市国際親善水泳大会参加交流団』に助成金を交付し、活動を支援します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

Ⅱ 海外との交流の場と機会の拡大

【目標：国際交流に積極的に取り組むとともに、市民意識の高揚を図る】

自治体職員協力交流事業費 302万3千円

海外の地方自治体などの職員を『協力交流研修員』として受け入れ、日本の自治体のノウハウや技術を習得してもらおうとともに、市内で開催される国際交流事業に同研修員を参加させ、市民との交流を通して、地域の国際化を図ります。平成18年度は6月下旬から11月下旬までを予定しています。

▶ 問い合わせ 企画グループ

国際交流推進事業費 22万5千円

登別市の国際交流を推進するため、講演会やデンマークからの研修生受け入れの支援などを行います。

- ・ **国際交流の推進に関する事業**…市内の国際交流関係団体などと連携して『国際理解講座』を開催し、国際交流の推進を図ります。
- ・ **デンマーク研修生との交流**…9月上旬から約1カ月、登別デンマーク協会が受け入れるデンマークからの研修生と市民との交流する機会をつくり、国際交流の推進を図ります。

▶ 問い合わせ 企画グループ

中学生海外派遣事業費 275万4千円

登別市の次代を担う青少年が、諸外国の生活や異なる文化に接することにより、国際理解を深め、国際社会に対応できる豊かな人間性を身につけることを目的に、市内の中学2年生5人をデンマークに派遣し（7日間）、ホームステイなどを体験させます。平成4年度に始まった同事業は今年度で15回目を迎え、これまでに91人の中学生を派遣しました。

▶ 問い合わせ 企画グループ

友好交流促進都市推進経費 62万2千円

中国・広州市と友好交流を促進し、地域レベルでの日中の友好親善を深めるとともに、観光振興を図ります。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

Ⅲ 定住の地を求める人の勧誘と定住支援

【目標：移住定住の促進に努めるとともに、交流人口の増大を図る】

移住促進経費 13万5千円

首都圏などの『団塊の世代』を主な対象に、北海道への移住促進や民間による移住ビジネス創出の研究を行う北海道移住促進協議会に参加し、当市への移住促進を図ります。

▶ 問い合わせ 企画グループ

問い合わせなどの電話番号

●市の機関

登別市役所(代表)	85-2111
-----------	---------

■総務部

総務グループ	85-1130
契約グループ	85-1184
人事・行政管理グループ	85-1132
企画グループ	85-1122
情報推進グループ(情報政策担当)	85-5109
情報推進グループ(広報広聴担当)	85-6586
財政グループ	85-1331

■市民生活部

市民サービスグループ	85-1855
鷲別支所	86-6111
登別支所	83-1131
登別温泉支所	84-2068
税務グループ	85-1155
環境対策グループ	85-2958

■保健福祉部

社会福祉グループ	85-1911
恵寿園	85-5043
子育てグループ	85-5634
健康推進グループ	85-0100
高齢・介護・障害福祉グループ(高齢福祉・介護保険担当)	85-5720
高齢・介護・障害福祉グループ(障害福祉担当)	85-3732
国保・年金グループ	85-1771

■観光経済部

商工労政グループ	85-2171
農林水産グループ	85-2321
観光振興グループ	84-2018

■都市整備部

管理グループ	85-3230
土木公園グループ	85-3260
(公園みどり担当)	85-4115
建築住宅グループ	85-4399
下水道グループ	85-9052
水道グループ(業務担当)	85-5501
簡易水道グループ	
水道グループ(工務担当)	85-5510

■消防

消防本部	85-9611
消防署	85-2551
鷲別支署	86-7359
登別支署	83-1115
登別温泉支署	84-2319

■教育委員会

総務グループ	88-1100
学校教育グループ	88-1162
学校給食センター	85-2723
社会教育グループ	88-1129
	88-1154
市立図書館	85-4324
ネイチャーセンター	85-2569

■会計室

会計グループ	85-9140
--------	---------

■議会事務局

総務グループ	85-9220
--------	---------

■選挙管理委員会事務局

総務グループ	85-9143
--------	---------

■農業委員会事務局

総務グループ	85-9190
--------	---------

■監査委員事務局

総務グループ	85-9230
--------	---------

●市の施設

市民会館	88-1139
総合体育館	85-5552
市民プール	85-5588
岡志別の森運動公園	88-2525
郷土資料館	88-1339
クリンクルセンター	85-2958
鉄南ふれあいセンター	85-2966
登別温泉ふれあいセンター	84-2068
若草つどいセンター	86-1205
総合福祉センター(しんた21)	85-0100
老人福祉センター	88-1303
のぞみ園	85-7721
中央子育て支援センター	81-3715
登別子育て支援センター	80-2772
婦人センター	83-3511
労働福祉センター	85-5044
地域情報センター	81-2182
葬斎場	83-1076
カルルス・サン・スポーツランド	84-3148

●公的機関

土地開発公社(財政グループ内)	85-1331
文化・スポーツ振興財団	88-1116
社会福祉協議会	88-0860
ファミリーサポートセンター	85-0033
ボランティアセンター	88-2080